“経営に知恵と革新”

令和二年１月１日発行（隔月発行）Vol.750 号

# マネジメント コンサルタント

Management Consultant

2020 年１月・２月号

## 2020年新春号

株式会社オルタナ
森 摂社長
×
一社）日本経営士会
青木 幸江会長

認定経営革新等支援機関
一般社団法人日本経営士会

# 謹賀新年

新しい年を迎え
会員皆様の益々のご健勝
ご活躍を心より祈念申し上げます。

令和２年　元旦
一般社団法人 日本経営士会
会長　青木　幸江
役員一同
支部長一同

# INDEX


会長年頭所感 ・・・・・・・・・2
「対談」オルタナ森摂氏 × 青木幸江会長 ・・・・・・・・・3
理事会通信 ・・・・・・・・・7
第 54 回経営士全国研究会議新潟大会のご案内 ・・・・・・・・・8
第 53 回経営士全国研究会議京都大会優秀論文 ・・・・・・・・・10
事業部・委員会活動
　ＣＳＲ環境事業部 ・・・・・・・・・19
　ＳＤＧｓ委員会 ・・・・・・・・・20
　経営支援事業部 ・・・・・・・・・22
　ＭＰＰ委員会 ・・・・・・・・・24
女性経営士の会 ＮＪＫ活動報告 ・・・・・・・・・25
研究会通信　生産研究会 ・・・・・・・・・26
中日本ブロック活動報告 ・・・・・・・・・28
セミナー開催報告 ・・・・・・・・・29
「会員の輪」会員紹介 ・・・・・・・・・30
会員広場　プロレスと経営（第 17 回） ・・・・・・・・・31
「寄稿」武術と健康に関する話（第 16 回） ・・・・・・・・・32
支部活動予定・報告
　北海道支部 ・・・・・・・・・34
　東北支部 ・・・・・・・・・35
　北関東支部 ・・・・・・・・・36
　千葉支部 ・・・・・・・・・38
　埼玉支部 ・・・・・・・・・40
　南関東支部 ・・・・・・・・・42
　中部支部 ・・・・・・・・・43
　近畿支部 ・・・・・・・・・45
　四国支部 ・・・・・・・・・47
　九州支部 ・・・・・・・・・48
支部研究会ご案内 ・・・・・・・・・49
インフォメーション ・・・・・・・・・50
広告 ・・・・・・・・・51



マネジメントコンサルタント（Management Consultant）
発行所：一般社団法人日本経営士会



〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A. 二番町ビル5F
Tel：03-3239-0691　Fax：03-3239-1831
http://www.keieishikai.com



表紙：株式会社オルタナ 森摂社長と当会 青木幸江会長 ／ 撮影者：青木強志広報委員長



Copyright©2020 AMCJ. All Right Reserved.  Design:Kenichi Aoki & ZENT Inc.

年頭所感

# 令和2年　新年あけましておめでとうございます

会長　青木 幸江

本年も皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げつつ年頭の所感を申し上げます。

早いもので、今年は役員候補、支部長選挙の年となりました。

この二期の間に進めてまいりました、財政の健全化(経費削減により内部留保の増加)、全国支部間の連携の強化(ブロックごとの関係強化)、外部との連携強化(産能大とのコラボの実施)など会の活性化のため、「宣伝ウーマン」として全国を駆け回って参りました。

この間に、公益支出計画も完全に終了いたしました。これからは、正に一般の企業と同じく、着実に収益を上げていかなければ、会そのものの存続が危ぶまれる現実を認識しなければなりません。

その為には、以下の施策の実施がこれから必要だと考えます。

1. 各種経費の見直し、固定費等の削減及び変動費化を促進することにより損益分岐点の引き下げを行う。
2. 各事業の「独立採算制」の徹底をする。現状での、「経営士養成講座」「環境経営士養成講座」など、各事業の独立採算制を実施する。
3. 新たな会員獲得施策の推進。
4. 全国研の損失問題の検証及びガバナンス・各種規程等の見直しの実施。
5. 役員定年制度の制定・導入(支部長・理事・監事の70歳定年制)の実施。

等々、改革すべきことは山ほど目の前にあります。会員の自然減(年齢的な事)や会に魅力を感じられない会員の退会に対して、本格的に魅力ある会、会員のための会にするべく頑張って参りますので、今年一年も、ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

対談

# 森　摂氏×青木幸江会長

■特別インタビュー：森　摂様（株式会社オルタナ代表取締役）
■インタビューアー：青木 幸江会長
■写真撮影：青木 強志広報委員長
■記事作成：事務局

今回の対談相手は、株式会社オルタナ代表取締役社長、サステナブル・ビジネス・マガジン「オルタナ」編集長、武蔵大学大学院客員教授、一般社団法人CSR経営者フォーラム代表幹事、環省グッドライフアワード実行委員など、「サステナビリティ経営」の領域で活躍されています森摂様です。色々な話題について広い視点で和やかに対談が進みました。

今後、オルタナと日本経営士会が主に広報関係で事業連携することになっています。

## ■オルタナとは

**青木会長：**今日はお忙しい中ありがとうございます。森社長とは、以前にもお会いしましたね。今回は日本経営士会と広報で業務連携をさせていただくことが決まり、ご縁を感じています。今日は、今後オルタナ様と日本経営士会の業務連携について森社長のお考えを色々とお聞きして、広報連携の意義を会員皆様にもお知らせしたいと思います。オルタナはどのように設立されたのですか。

**森　社長：**今回は、福井CSR環境委員長のご尽力もあって、業務提携に至り、うれしく思っています。雑誌「オルタナ」」を創刊したのは2007年3月ですので12年たちました。雑誌のタイトルであるオルタナの語源は、英語の「オルタナティブ」で、日本語では「もう一つの選択肢」、「代替案」という意味です。より良い資本主義を目指すための代替案。20世紀の資本主義の色々な矛盾、日本も高度成長を経てバブル崩壊を経て「空白の30年」が続きましたが、それに伴う社会課題をビジネスで解決していく手段はないかとずっと新聞記者時代から考えていました。そして、今ある現状に対しての代替案を示し、資本主義をもっと良くするための雑誌を創刊することにしたのです。

（オルタナ 森社長）

1972年、「成長の限界」という本が出版され、1992年のリオデジャネイロ（ブラジル）の「地球サミット」では気候変動・環境汚染・貧困・人権の地球的課題を議論しました。ただ、21世紀に入っても、日本のビジネスパーソンの間で、こうした地球的課題が事業リスクになるとともに、チャンスでもあるという認識が広がりませんでした。そこで、「より良い資本主義」を目指す媒体を自分で始めたいと思ったのが創刊のきっかけでした。

**青木会長：**なるほどですね。森様は、日本経済新聞の記者でいらっしゃいましたからね。「オルタナ」は主にどのような内容の雑誌ですか。

**森　社長：**私は新聞記者当時から環境問題やガバナンスCSRに関心がありました。こうした問題意識を深堀りしたのが「オルタナ」です。そしてもう一つ大事なポイントは、従業員満足度（ES）とCS（社会的満足）。この2つは20世紀のビジネスに不可欠でしたが、私たちは、これに加え、「SS」（社会満足度）の測定と普及を提唱しています。
一つの地域で、この会社はなくてはならないと思われる会社、地域や社会から感謝される会社は100年、200年と続く傾向が強いです。なかなか、つぶれることは少ないです。こういうことを定量化して発信したいと思いました。
こうしたプロセスを通じて、資本主義のメインストリームを補完する、新しい経営の要素は何か、を探る雑誌を目指しています。

**青木会長：**今後オルタナ様の季刊誌と、当会の広報誌マネジメントコンサルタントを活用して、それぞれにフライヤーを同封したりして更に有効な情報を発信したいですね。

## ■23.4度傾きの先には

**森　社長：**当時から私が言い続けている言葉があります。「ビジネスの軸を、23.4度傾けよう」です。

**青木会長：**23.4度とは？

**森　社長：**23.4度は地軸の傾きです。地球の公転面に対して傾きがあるので、地球上に四季や生物多様性が生まれたのです。企業や経営者にとって「23.4度」という角度はほんの少しですが、その軸を傾けてみると、サステナビティに対する視野や新しいマーケットが見えてきます。企業人、経営者にとって将来のリスクやチャンスも見えてきます。
一つの例ですが、最近話題になっているのが、パームオイル（ヤシの油）問題があります。お菓子や洗剤などに使用されますが、マーレーシアやインドネシアでアブラヤシが栽培される中で、生態系や生物多様性が損なわれています。熱帯雨林を焼いてからヤシを植えるので、熱帯雨林の喪失、オランウータンやゾウなど野生の動物への影響などがあります。

**青木会長：**本当に胸の痛い問題ですね。本当にひどいですね。私も色々な本や雑誌で目にしています。

**森　社長：**20年以上も前から社会問題になっていたのですが、知っているのは、一部のNGOや専門家だけでした。彼らはネスレやユニリーバなどの大企業に抗議し、日本の企業も問題視していました。一方でヤシ殻を燃やした「バイオマス発電」で電気を作り続けている企業があります。そういう人たちはパーム油問題を軽視しているのです。
つまり、社会問題の感度を高めておけば、将来の事業リスクを回避できるのです。一方、CSRはリスクだけではなく、チャンスもあってSDGs（持続可能な開発目標）の中に「アウトサイドイン」ということ言葉があります。
今までの企業経営はプロダクトインかマーケットインだったのですが、マーケットインのベクトルを少し延ばすと、顧客のすぐ後ろにいる「社会」が見えてきます。すると社会の声が聞こえてきます。これにより、同業他社には分からない「社会ニーズ」が把握でき、新規事業創出のためのチャンスを手にすることができるのです。

**青木会長：**日本では、なかなかSDGsが浸透しないですが、一方で、一生懸命それを唱えている企業もあるようです。SDGsの17の項目はどれも厳しいですよね。先日も企業でSDGsのお話をしてきたところです。

**森　社長：**SDGsの「17のゴール」をすべて達成するのは大変です。普通の企業は、まず「お客様の声を聞きましょう」「お客様ファースト」です。しかし、先ほど申し上げた通り、顧客のすぐ後ろには、社会があって、社会の声を聞くと社会のニーズが見えてくるのです。
昔から「社会ニーズを見つけよう」と言っていた企業があるんですね。オムロンです。

創業者立石一真さんは、顧客ニーズという言葉は使わず、「社会ニーズを見つけよう」とそう社員に呼び掛けました。
オムロンは当時、京都の小さな電子部品メーカーでしたが、その後、鉄道の改札機を開発したり、家庭用の血圧計を開発したり。松下幸之助さんは、昭和初期に炊飯器を使いながら電気も使える二股ソケットを作り爆発的に売れて松下電器産業は成長しました。
これらは社会のニーズを先取りした事例です。昭和の有名な経営者は皆、「社会ニーズ」の先取りをしていたんですね。オルタナは今年、「アウトサイドインは、昭和と海外に学べ」という特集記事を組んだことがあります。
今後、少子高齢化、過疎化など進む中で、伸びていく会社とそうでない会社に、はっきり分かれていきます。生き残りたいのであれば、「社会ニーズ」を先取りしなければなりません。
SDGsを取り組むことは自社のためでもあります。地域や社会に貢献すれば、「社会満足度」(SS)も高まります。それが会社を長生きさせる最大のポイントというのが、13年オルタナをやってきての結論です。

**青木会長：**クライアント先で、当然SDGsを何とかしてほしいという要望がたくさんあります。時代が問題を作っているところもありますね。

## ■経営士会とのコラボ

**青木会長：**オルタナ様のミッションを教えていただきました。今後、経営士会とのコラボはどのようにお考えですか。

**森　社長：**具体的な関係をじっくりと考えています。先ずは経営士の先生方と改めてCSRとサステナビティの概念を共有したいです。2つ目はSDGsにどのように取り組んでいくかは、2030年までの経営の大きな柱になります。経営士の方がクライアントにしっかりと伝えていただくお手伝いが出来ると思います。3つ目は「グローバルな潮流の共有」です。実は最近、ロンドンで4日間の研修を実施しました。サーキュラーエコノミー(循環経済)やリサイクルビジネスなどをテーマに、現地企業やNGO／NPO、行政機関を回りました。

**青木会長：**現地にいる邦人向けの研修ですか。

**森　社長：**いいえ。日本から来ていただいた企業の経営者や幹部社員向けです。

**青木会長：**ロンドンですか。わざわざイギリスで開催する意味は何でしょうか。

**森　社長：**サステナビリティの新しい潮流が生まれるのはロンドンが多いです。企業とNGOと行政が新しいルールを作って、それを世界に広める「トライアングル」が機能し得ています。
「再生可能エネルギー100%を目指すキャンペーンを全世界に広げましょう」と提唱したのもイギリスのNGO「RE100」です。色々なNGO／NPOが企業とコラボレーションして世界のルールを作っています。昔からイギリスは世界のルール作りが得意な国です。ルールづくりをしてコンサルをし、コンサルティング料や認証料をもらったりしているのです。
今、多くの日本人が「内向き」と言われていますが、グローバルな流れを掴んでおかないと、私たちも経営士もビジネスに繋がらないですね。
ビジネスに不可欠なグローバルな情報を提供するのが、オルタナのミッションであり、この分野で社会や企業に貢献できること考えています。

**青木会長：**オルタナ様は、「CSR検定」を実施されていますよね。

**森　社長：**当初、CSRの検定は、違う団体が2008年に始めました。その時は受験者が伸びず、オルタナに支援要請があったため、2015年にリブランドをしました。そこで、1～3級の級別も導入しましました。3級のテキストは100ページあります。合格率は約75%です。最近若い世代でCSRや環境問題に関心ある方も増えています。今年の10月は熊本会場だけで500人、全体で1,350人に受験いただきました。
そして、私の夢は英語と中国語版をつくり、インドや中国などアジア圏で実施したいのです。インド、中国を東洋という括りで東洋的思想も入れて実施したいです。

**青木会長：**それは素晴らしい事ですね。是非実現させてください。経営士会でも、SDGs委員会も出来ましたし、CSR環境委員会でもSDGs、CSR、環境経営を普及させておりますのでこれに絡められたらいいですね。

**森　社長：**日本経営士会、経営士のパワーアップに繋がればいいですね。
日本でも遅ればせがなら、SDGsが普及してきています。内閣府が「SDGs未来都市」を去年・今年で60、来年も30と合計90の都市を選定しています。一部には予算も付きました。来年応募したい自治体にコンサルする場合のノウハウは提供できると思います。

**青木会長：**それはすごくいい話ですね。

**森　社長：**熊本・阿蘇山の北側に小国町というところがあります。木材と酪農の町です。そこの役場の方が内閣府に出向してSDGsの未来都市のスキームを作り、その後、小国町に戻られました。小国町はSDGs未来都市に選定されています。
たまたま私が2週間前に小国町に講演しに行ってお話しをさせていただき、今度そのSDGs未来都市担当者さんを東京にお呼びしてみんなでセミナーを受けられたらと思っています。
先日は、内閣府の担当者も取材してきました。地方創生とSDGsが密接に絡んできたので、お金の流れも含めて生き残りのツールになります。最近は、取材も含め内閣府、環境省、金融庁、林野庁など省庁とのお付き合いが増えていて、色々なご意見をお聞きする機会があります。

**青木会長：**お話聞けたらいいですね。結構いろいろなことができそうですね。

**森　社長：**そうですね。焦らずじっくりやっていきたいと思いますね。日本では、経営の世界は売上高や利益をどれだけ上がられるかが目的とされています。しかし私は、日増しにそれだけではないと考えるようになりました。
その象徴が「パーパス」という言葉です。私はあえて「目的」とは訳さず、「存在意義」と訳していますが、ソニーが今年初めて制定しました。企業・経営者にとってもそのパーパスが大きく問われています。オルタナでは、2020年春に増刊号で経営者や非営利団体、官公庁のトップ、知事や市町など自治体の首長らの執筆を依頼しているところです。

**青木会長：**面白い企画ですね。今日は色々なお話を伺うことができました。本当に有難うございました。

**森　社長：**こちらこそありがとうございました。

（森社長と青木会長 対談の様子）

# 理事会通信

## ＜令和元年度第4回定例理事会＞

記

日　時：令和元年12月6日（金）　13：00～14：20
会　場：本部会議室

**(1)審議事項**

**第一号議案：選挙日程について**

事務局より資料に沿って、役員候補、支部長選挙の日程、前回との相違点の説明があり、審議の結果、全会一致をもって承認された。

**第二号議案：経営士等承認について**

事務局より資料に沿って説明があり、審議の結果、全会一致を以って6名の新入会員が承認された。

**第三号議案：全国研新潟大会の予算案について**

佐藤副会長より資料に沿って説明があり、計画書の収支を修正することを条件に全会一致を以って承認された。

**第四号議案：中間監査報告**

監事より中間監査報告が読み上げられ、意見を求めたところ、今回の全国研の経費に対しての監査が不十分ではないか等の意見が出た。

**(2)報告事項**

**1. 今期決算額の予測について**

佐藤副会長より資料に沿って説明があり、予定外の支出等で厳しい決算になる旨の報告があった。

以上

## ★選挙に際しての注意事項★

「役員候補、支部長選挙」活動が始まります。前回の選挙時にあった間違い事項と変更になった事項を下記に記載しましたので、ご確認願います。まずは同封しました「役員候補　支部長選挙のご案内」をご一読ください。

1. 選挙は正会員のみが参加できます。準会員（経営士補、環境経営士）、特別会員、顧問の立候補、推薦書の提出、投票はすべて無効です。
2. 業務執行理事、ブロック理事、監事、支部長各1名のみ推薦できます。同一の役職で2名以上推薦した推薦書はすべて無効です。
3. 推薦書の推薦文は30字以上としました。30字未満の推薦書はすべて無効です。
4. 理事の推薦は同じブロック内の立候補者のみです。他のブロックの立候補者を推薦した場合は無効になります。

全国研だより

# 第54回 経営士全国研究会議 新潟大会 のご案内

2020年　10/31(土)～11/1(日)

〈 包括テーマ 〉

## 地域の活性化と戦略

～高齢化、人口減少における観光・産業・海外展開などの取組み～

**会場**　**新潟東映ホテル**

※新潟駅より徒歩5分

第54回全国研究会議は、北関東支部主管で新潟市に於いて開催いたします。

北関東支部では、基調講演、分科会、エキスカーションと全て包括テーマに沿った内容で準備を進めています。研究会議で研鑽を深め、エキスカーションにおいて現地を体感していただき、更に新潟の食を楽しんでいだく。特に分科会は、新たな取組と捉えご満足いただけるように検討しています。たくさんの会員の皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

研究論文も同テーマでの募集となります。こちらもよろしくお願い致します。

尚、募集につきましては、MC3月・4月号に詳細を掲載し、3月中旬からの予定です。

### プログラム(予定)

**基調講演(3つの視点から)**

| | | | |
|---|---|---|---|
| コンサルタント | ブランディングアドバイザー | 信田　和宏 | 氏 |
| 企業経営者 | (株)新潟クボタ　代表取締役 | 吉田　至夫 | 氏 |
| 研究者 | 東海学園大学准教授 | 丸山　一芳 | 氏 |

**交流懇親会**

アトラクション　柳都新潟　古町芸妓による舞　など

**分科会**

第一会場「観光」　・　第二会場「産業」　・　第三会場「海外展開」

**宿泊**

新潟東映ホテル　シングル　1泊朝食付　8,400円(税込)[100室確保]

※満室の場合は、近隣ホテルを御用意いたします。

## 空路

～3月28日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 新千歳 | → | 新潟 | 新潟 | → | 新千歳 |
| 9:25 | | 10:40 | 18:05 | | 19:25 |
| 中部国際 | → | 新潟 | 新潟 | → | 中部国際 |
| 11:15 | | 12:15 | 18:35 | | 19:35 |
| 小牧 | → | 新潟 | 新潟 | → | 小牧 |
| 11:10 | | 12:05 | 16:20 | | 17:20 |
| 伊丹 | → | 新潟 | 新潟 | → | 伊丹 |
| 10:25 | | 11:25 | 17:25 | | 18:35 |
| 関西国際 | → | 新潟 | 新潟 | → | 関西国際 |
| 11:00 | | 12:15 | 12:50 | | 14:20 |
| 福岡 | → | 新潟 | 新潟 | → | 福岡 |
| 7:15 | | 9:05 | 16:35 | | 18:45 |
| 台湾 | → | 新潟 | 新潟 | → | 台湾 |
| 8:30 | | 12:30 | 13:30 | | 16:25 |

※金曜日運航　　※月曜日運航

## 上越新幹線

| 東京 | | 新潟 |
|---|---|---|
| 9:12 | → | 10:49 |
| 9:28 | → | 11:34 |
| 10:16 | → | 12:24 |
| 10:40 | → | 12:39 |

| 新潟 | | 東京 |
|---|---|---|
| 13:19 | → | 15:28 |
| 14:13 | → | 16:00 |
| 16:56 | → | 19:00 |
| 18:12 | → | 20:12 |

## 高速バス

東京／前橋・高崎
名古屋／大阪・京都
長野／金沢／富山
郡山／仙台／山形

◆現時点での時刻表です。スケジュールの参考としてください。
◆新潟空港から新潟駅までは直通リムジンバスで約25分　420円
◆高速バスの発着は、新潟駅周辺になります。
◆新潟駅から新潟東映ホテルまでは徒歩約5分（万代口）又は約10分（南口）

## エキスカーション

募集代理店：新潟県知事登録旅行業　第3種397号　株式会社 ゆめ旅

### 【1泊2日コース（温泉宿泊）】

1. 佐渡満喫コース（相川温泉）　40,000円（税込）
   佐渡金山、朱鷺の里、歴史博物館、たらい船、酒造見学　など

2. 地域産業と越後一之宮参拝コース（弥彦温泉）　28,000円（税込）
   工場見学2社、朝日酒造、弥彦神社、寺泊漁港など

3. 鮭文化と町屋散策コース（瀬波温泉）　32,000円（税込）
   鮭料理フルコース、町屋散策、イヨボヤ会館、おしゃぎり会館など

### 【日帰りコース】

1. 米・醸造文化コース　6,000円（税込）
   北方文化博物館、峰村醸造、今代司酒造、ピア万代

※各コース最小実施人数は20名です。申込が少ない場合は実施しません。
※すべて、交通費（船代バス代）宿泊、食事、入館料等は含まれております。

# 第53回経営士全国研究会議京都大会
# 優秀賞論文

## ベンチャー企業は信頼から TV 番組へ
（キャズムという深い溝を越えるには）

豊田 賢治 （埼玉支部）

（論文要旨）

我が国の企業数が減少している中で、新規開業するベンチャー企業は非常に貴重である。しかしながら、スタートアップ時は経営的に脆弱で、生き残っていくのに高いハードルが待ち構えている。特に新製品・新サービスを開発して、初期市場からメインストリーム市場へジャンプアップする時の「キャズム」という深い溝を越えるための支援策が重要になる。ここで必要なのが、しっかりした経営計画と、メインストリーム市場の見込み客からの信頼を得られる方策である。私は経営コンサルタントとして、経営革新計画承認、イノベーションコンテスト受賞と補助金採択によって行政・銀行・新聞社などのお墨付きという信頼性を獲得する支援を行った。その結果マスコミなどのメディアにも何度も取り上げられ、大企業からも受注を多数獲得し、ベンチャーキャピタルからの出資を受けるまでに至っている。このようにコンテスト受賞、補助金を何度も受けることが、単なる一過性の流行ではないという信頼性確保につながり、ベンチャー企業の立ち上げ時に有効であることを共有したい。

## 1.（本文）

### 1.1 緒言

日本経済の国際的地位が低下している中で、新しい事業を始めようとする起業家を支援することは、コンサルタントとして重要な使命のひとつである。経営的に不安定なベンチャー企業の事業を軌道に乗せていく方法の実践を共有することが本論文の目的である。

### 1.2 研究・調査方法

日本の企業全体の状況とベンチャー企業の不安定要因を調査した。その対策として私が実践した手法の有効性を検証した。

#### 1.2.1 我が国の企業数の現状

我が国の企業の現状を見ると、企業数は逓減している。直近の2014年から2016年の2年間だけで23万者も減少しており、経済の活気が失われつつあることが懸念される。そのような中で起業を促し、事業を継続させるために経営コンサルタントとしてどう支援したら良いのだろうか。

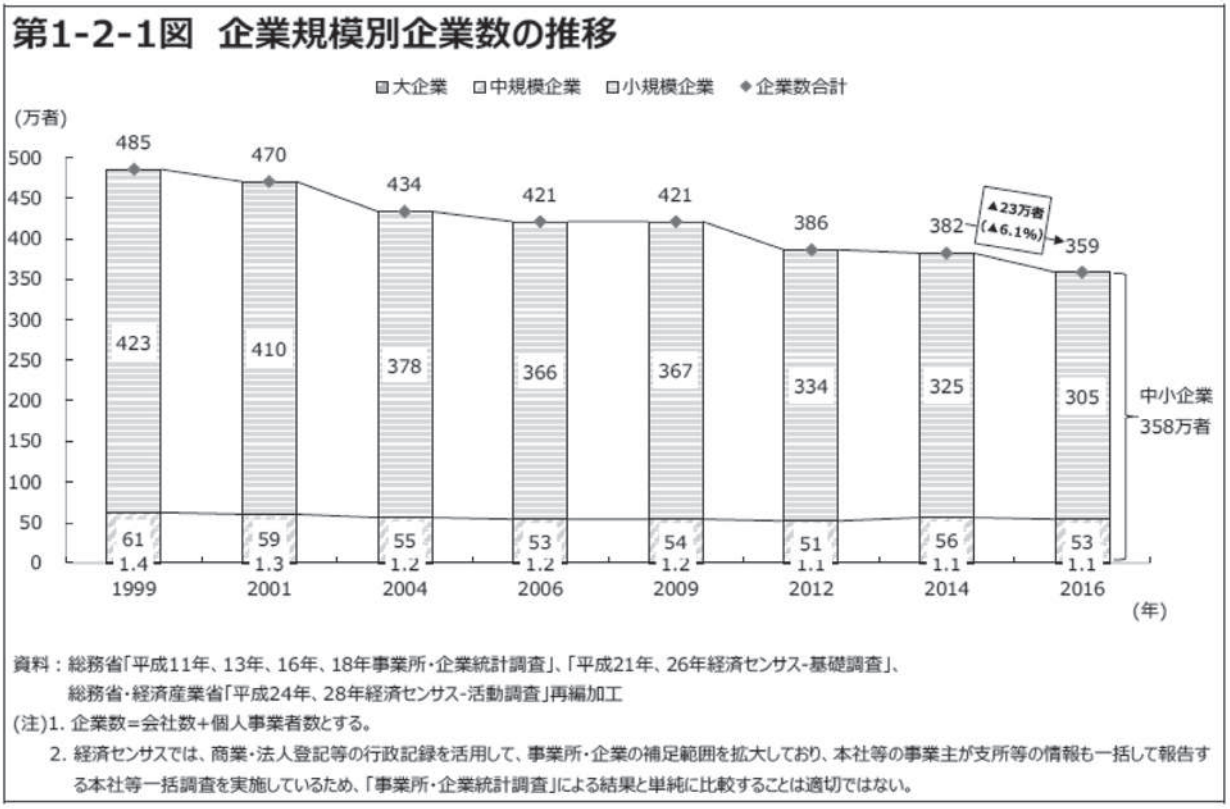



図1　出典：2019年中小企業白書（グラフ内の図番は出典のもので本論文の図番ではない）

### 1.2.2 ベンチャー企業の現状

一方、起業の状況については、以下の記事が参考になる。

「グローバル・アントレプレナーシップ・モニター

2001 ～ 17年の間に成人（18 ～ 64歳）人口100人あたり何人が起業活動に従事しているかを調査。日本では3.7人、米国11.4人、中国14.9人」[1]

国際的に見ても日本の起業家の割合はかなり低いことがわかる。さらに、素晴らしいアイデアを引っ提げて起業しても、次に述べるテクノロジー・ライフサイクルの罠が待ち構えている。（以下、図2を含めて参考文献の引用・要約）

ハイテク製品のマーケティングにおいて、少数のアーリー・アドプター（ビジョナリー（進歩派））とアーリー・マジョリティー（メインストリーム市場・少し慎重派）の2つの市場の間に**「キャズム」**という深い溝の存在が指摘されている。この「キャズム」を越えないと生き残れないのである。

イノベーターとアーリー・アドプター、アーリー・マジョリティーとレイト・マジョリティーのそれぞれの間には、「キャズム」ほど深くはないが「クラック」という溝もある。

テクノロジー・ライフサイクルとは、新たな製品が市場でどのように受け入れられていくかを表す1つのモデルである。

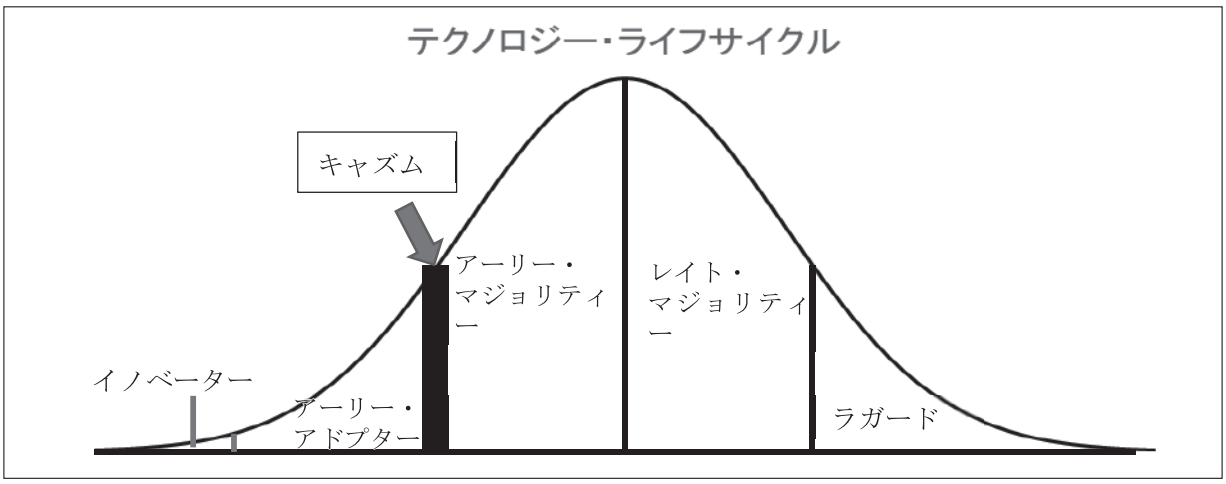



図2

イノベーターは、新しいテクノロジーに基づいた製品を追い求める人たちである。彼らの最大の関心事は新しいテクノロジーであり、製品がどのように役立つかということは二の次である。

アーリー・アドプターは、新たなテクノロジーがもたらす利点を検討、理解し、それを正当に評価しようとする。そして、彼らが抱えている問題を解決してくれる可能性が高ければ、その製品を購入しようとする。製品の購入を決める際に、他社の導入事例には頓着せず自らの直感と先見性を拠り所とする。

アーリー・マジョリティーは、最新の発明といわれるものの多くが一過性の流行で終わることを十分認識しており、自分たちが新製品を購入する前に、まず他社の動向をうかがおうとする。このグループの構成員は多数に及ぶために、彼らを誘引することが、成長を遂げ、大きな利益を得るための決定的な要素となる。

レイト・マジョリティーは、アーリー・マジョリティーがハイテク製品を扱うことにさして抵抗を感じないのに対し、レイト・マジョリティーは、製品の購入が決まった後でも、自分で使うことに多少の抵抗を感じる。その結果、彼らは業界標準というものが確立されるのをひたすら待ち続け、手厚いサポートを受けるために、実績のある大企業から製品を購入したがる傾向にある。

ラガードは、新しいハイテク製品には見向きもしない人たちである。

テクノロジー・ライフサイクルの基本的な考え方をまとめると、テクノロジーというものは、購買者の特性並びに社会的に置かれている状況を反映したいくつかの段階を経て市場に受け入れられていくということである。[2]（引用・要約　ここまで）

ベンチャー企業の存続と発展においては、イノベーターからアーリー・アドプターへの移行時のクラックを乗り越えることが第1関門だが、それを越えた後にはさらに大きな「キャズム」というアーリー・アドプターからアーリー・マジョリティーへの移行時の溝が待ち構えている。

### 1.2.3 ベンチャー企業の支援策の実践

ハイテク・ベンチャー企業のテクノロジー・ライフサイクルにおける「キャズム」を乗り越える

1つの手段として、行政や大手企業のお墨付きを何度も得ることにより信頼性を高めアーリー・マジョリティーからの評価を得るための支援を行った。

**支援企業紹介**

企業名：株式会社サウンドファン

設立：2013年10月（設立時は2名のシニアベンチャー）

事業内容：音で世界の人を幸せにする！を企業理念として、“安心、安全、快適な”音にかかわる事業で、世の人々に役立つための事業展開を行う。

・「言葉」が伝わり、音のバリアフリーを実現する「ミライスピーカー（R）」（難聴者にも聞こえるバリアフリースピーカー）の開発、製造、及び販売（特許・商標取得済）

資本金：設立時は100万円

2019年4月1日現在　4億2千万円（ベンチャーキャピタル7社出資含む）

**同社のミライスピーカーの特徴**

バリアフリースピーカーとして、従来のスピーカーと異なる以下の特徴を備えている。

・難聴者にも聞こえやすい。

・健聴者には近くでうるさくなく、雑踏のようなざわざわした所でも離れても聞こえる。

・指向性が高くなく、広い空間で聞こえる。

**用途**

・公共施設･銀行での呼び出し

・空港･駅などでの案内放送

・セミナー・イベントでのスピーカーとして

・教会･寺などでの説教･法話

・耳の遠い方のテレビ視聴時での低音量化

図3　ミライスピーカーの原理

**従来のスピーカー**
コーン紙を電気信号で前後に動かして音波を出す

**ミライスピーカー**
樹脂の板を弓状に曲げて電気信号で振動させて音波を出す（従来のスピーカーとは異なる音波を発生）

ミライスピーカーから発生する音波が難聴者に有効であることは、500名程の難聴者の実証実験から分かってはいた。しかし、産業技術総合研究所の教授（現在は千葉大学教授）などの協力を得ても、その音波による難聴者が聞こえる原理は解明できていなかった。（現在ではかなり解明は進んでいるが企業秘密）

従来の難聴者向けスピーカーとして販売されているものは、TVの音声を無線で飛ばして手元にスピーカーを置いて近くで聴く、若しくは指向性が鋭く、聞こえる範囲が近くてごく狭いというものしかなかった。

ミライスピーカーは従来のものとは全く異なる原理のため、視聴した人からの評価は高かったが、一般に広くアピールすることが難しく当初は販売には苦労した。（イノベーターからアーリー・アドプターの前半ぐらいまでが評価して購入していた。）

ベンチャー企業の最大の課題は資金と売上である。資金については、設立したてのベンチャー企業は銀行融資では十分な資金を得ることは困難である。そこで国や地方公共団体の補助金の活用を図るのだが、大抵は資金調達のみの目的でしか考えていない。

良い製品だがベンチャーじゃ心配という慎重派の懸念に対し、経産省や都道府県の補助金は要件を満たすだけでなく、応募者の中からより優れたものが採択されることから、私はこれを慎重派のアーリー・マジョリティーに向けてのPRにも結びつけようと考えた。

知名度がないブランド力もない設立したてのベンチャー企業に、補助金での採択は行政のお墨付きという信頼性をアピールする手段になると考えた。さらに、都市銀行、行政、新聞社などのイノベーションコンテストに応募しての受賞により、メディアへの露出とそれによる信頼性とPR効果も狙った。

私は理系出身のため、ある程度技術のことは理解でき、セールスライティングの研究もしている。各申請書のラフ原稿は同社が書き、私が技術的な内容を分かりやすく翻訳し、審査員の立場で読みやすく分かりやすくアピールできるよう書き換えるという支援を行っている。プレゼンテーションのアドバイス、スライド作成の支援なども併せて実施している。

また、設立時に大まかな中期経営計画はあったが、よりしっかりした経営革新計画を策定支援し、東京都に直接持ち込み申請したところ、担当者からここまでしっかりした計画書を提出してきた企業はほとんどないとのコメントをいただいた。これもお墨付き、信頼性につながっている。数年間の間に集中して、経営革新計画承認、コンテスト受賞、補助金採択を何度も得る施策を実行した。（4年半の間に9件の承認・受賞・採択）

**支援内容**：事業計画策定、マーケティング（行政や都市銀行などのコンテスト受賞や補助金採択によるお墨付きを信頼感として、設立間もないサウンドファンのブランド価値を構築）

具体的には

（1）ものづくり補助金申請・採択（2014年8月）

(2)経営革新計画承認(2015年4月)

(3)日本経営士会　ビジネス･イノベーション･アワード　奨励賞(2015年10月)

(4)三菱UFJ銀行　Rise Up Festa　最優秀賞(2016年4月)

(5)東京都　世界発信コンペティション　技術特別賞(2017年11月)

(6)埼玉県　新技術･製品化開発費補助金申請・採択(2017年6月)

(7)日刊工業新聞社・りそな中小企業振興財団　中小企業優秀新技術･新製品賞　優秀賞(2018年4月)

(8)埼玉県　医療機器等試作品コンテスト　奨励賞(2018年12月)

(9)東京信用金庫協会・しんきん協議会連合会・東京事業経営者会「平成30年度　優良企業表彰制度」により表彰(2019年3月)

## 1.3 結果

経営革新計画承認、各種コンテスト受賞、各種補助金採択によるお墨付きがメディアの目に止まり数多くの取材・掲載・放映につながった。ビジネス番組として多くの経営者が視聴している「ガイアの夜明け」で丸々 1時間取り上げられたことは、非常に反響が大きく、数日間電話が鳴り通しだった。同社の営業がこれらのメディア掲載をうまく取り入れ、効果的なセールス活動を行った。それらの結果、出てすぐ消えるベンチャーではないと、大手の企業にも信頼され様々な用途に導入されるようになり、「キャズム」を乗り越えるのに大いに役立った。

### 1.3.1 メディア掲載・放映(ごく一部を抜粋)

**表1 メディア掲載一覧**(黄色の網掛けはコンテスト受賞の記事、ピンクの網掛けはTV放映)

| 掲載年月日 | 掲載媒体 | タイトル | 備考 |
|---|---|---|---|
| 2019.05.15 | Yahoo！ニュース | 「ミライスピーカー」、世界 5か国から特許取得 | |
| 2019.02.01 | NHK総合1 | 『おはよう日本 関東甲信越ニュース』 | |
| 2019.01.18 | **日本経済新聞**<br>東京版 | 「Beyond the Wall (中) 介助に我が社の技術」 | |
| 2018.12.27 | NHK総合1 | ひるまえほっと | |
| 2018.11.08 | JAL機内誌 | 「SKYWARD 11月号」(国内版) | |
| 2018.06.07 | BSフジ | 「100 歳時代」 | |
| 2018.05.09 | **日刊工業新聞** | 『開発の舞台裏　中小企業優秀新技術・新製品賞(10)　優秀賞　サウンドファン蓄音機のラッパに着想<br>■音のバリアフリー実現「ミライスピーカー」』 | コンテスト受賞 |
| 2018.04.18 | **TV東京** | **ガイアの夜明け**<br>「シリーズ ニッポン家電の逆襲②「ベテラン」の革命」 | 1時間丸々<br>同社のみ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 2018.02.16 | 日経MJ | 「案内もバリアフリー　空港、耳不自由な人に優しく（耳寄りな話）」 | 日航・スターフライヤー採用 |
| 2018.01.19 | 日経デジタルヘルス | サウンドファンの「ミライスピーカー」国内 14 空港に | |
| 2017.12.20 | 自治体クリップ | 「役所の窓口やイベントで活躍。難聴者・高齢者を音でサポート（神奈川県綾瀬市）」 | |
| 2017.12.06 | 日経デジタルヘルス | サウンドファンの「ミライスピーカー」、東京都ベンチャー技術特別賞を受賞 | コンテスト受賞 |
| 2017.10.31 | 日経産業新聞 | 『スピーカー、難聴者も満足、サウンドファン、累計納入1000台、病院や金融機関、海外も開拓。』 | |
| 2017.10.05 | NHK国際放送 | 『great gear』 | |
| 2017.09.14 | 日本流通産業新聞 | 『サウンドファン / 高齢者向けスピーカー / 介護施設で導入実績』 | |
| 2017.07.10 | **日本経済新聞** | 「難聴者・高齢者に福音「音のバリアフリー」広がる」 | |
| 2017.04.14 | 高齢者住宅新聞 | 「音のバリアフリー実現難聴者にも聞き取りやすいスピーカー」 | |
| 2017.03.24 | 日刊ゲンダイ | 『ものすごいスピーカーを作った下町シニアベンチャー開発秘話』 | |
| 2017.03.24 | **産経新聞** | 『難聴者に聞こえやすいスピーカー』 | |
| 2017.03.21 | TV東京 | ゆうがたサテライト | |
| 2017.03.18 | BS-TBS夢の鍵 | 聞こえやすい不思議なスピーカー | |
| 2017.03.03 | TV東京ワールドビジネスサテライト | ミライスピーカー「カーヴィー」紹介 | |
| 2017.03.04 | 電通報 | 【ミライスピーカー・カーヴィー発売記念「音のバリアフリー体感イベント」】 | |
| 2016.06.20 | **日経ビジネス** | 「音波の常識を覆すスピーカー」 | |
| 2016.06.13 | NHK首都圏ネットワーク | 「難聴者も聞きやすいスピーカー」 | |
| 2016.06.06 | **日経ビジネス** | 三菱東京 UFJ 銀行『Rise Up Festa』の「ソーシャルビジネス部門」の最優秀企業賞 | コンテスト受賞 |
| 2016.06.03 | **朝日新聞** | 「鮮明な音、難聴者に届け新開発スピーカー、銀行・介護施設に」 | |
| 2016.06.02 | 日経産業新聞 | 「難聴者の 8 割が聞こえるスピーカーヒントは蓄音機 スピーカー開発サウンドファン」 | |
| 2016.06.01 | **産経新聞** | 「ミライスピーカーに注目」 | |

図4　同社のホームページ[3]　受賞歴を公表することで閲覧者に信頼感を植え付ける。

### 1.3.2 導入実績

ミライスピーカー導入企業（一部）

日本航空、スターフライヤー、野村證券、大和証券、SMBC日興証券、第一生命、日本生命、三菱UFJ銀行、りそな銀行、横浜銀行、千葉銀行、タワーレコード、東京大学、九州大学、聖マリアンナ医科大学、信州大学、立命館大学、千葉大学、長谷工シニアホールディングス、社会福祉法人福栄会、八王子療護園、綾瀬市役所、足立区役所、山形県尾花沢市役所、高崎市役所、千代田区社会福祉協議会、明の星教会、サンシャインシティ、国分寺マルイ、クレディセゾン、総合警備保障、凸版フォームズ、大日本印刷、内田洋行、沖電気、富士通、東京国際フォーラム、八重洲ブックセンター、電通、帝国ホテル

日本航空は羽田空港をはじめ地方空港で搭乗案内や手荷物検査場などでのアナウンス用に、野村證券など証券会社は全国の各支店での顧客向けセミナー用に、銀行や役所では窓口での呼び出し用に、大学では講義用に、教会は説教やミサ用などに利用されている。

難聴者に限らず、ざわついた空間でも近くでもうるさくなく遠くまで音が届くという特徴から、健聴者にとっても役立つスピーカーとして活用の場が拡がっている。

## 1.4 考察

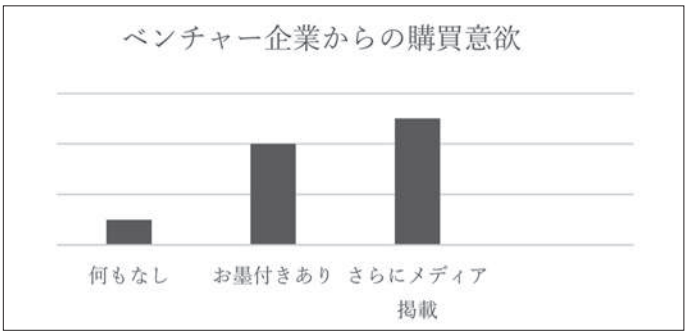



図5　ベンチャー企業からの購買意欲（著者作成）

ベンチャー企業からの購買意欲をイメージ化すると左のグラフのように、何もないと信頼性がなく、多くの人は購買を躊躇する。

信頼できる組織のお墨付きやメディア掲載・放映が何度もあると信頼性が高まり、購買意欲は格段に高まる。

お墨付きを得る手段として、経営革新計画承認、コンテスト受賞、国・地方公共団体の補助金採択をPRに活用することが有効であることが証明された。

## 1.5 結論

起業したばかりで、知名度も資金もない企業が生き残り大きく成長していくためには、ユニークな製品・サービスと見込み顧客からの信頼を獲得することが不可欠である。新しいものに飛びつくイノベーターや進歩的な少数のアーリー・アドプターの先の「キャズム」を乗り越えて、多数のアーリー・マジョリティーへの評価につながる信頼を得る手段として、第三者（都道府県）から承認された経営革新計画、行政・銀行・新聞社主催のコンテスト受賞、国・地方公共団体の補助金採択が有効である。1度でなく何度も受賞・採択されることで、公からこれだけ評価されているという証明になり、ベンチャーだからという見込み顧客の不安を払拭するのに効果があった。資金のないベンチャー企業にとってこれほどPR効果を発揮し、一石二鳥（資金を得られて広告効果もある）となるものはなく、そのことをうまく活用して起業家を支援することが効果の高い方策のひとつである。

## 2.（謝辞）

（株）サウンドファン創業者の佐藤和則氏には、ほぼ創業時から私の提案を取り入れていただき、また、副社長の宮原信弘氏には、コンテストや補助金の申請書原案を作成いただき、深く感謝申し上げます。

## 3.（参考文献）

1）「日本経済新聞朝刊」（2019年4月12日付）　やさしい経済学　日本の起業意識と起業活動②
武蔵大学副学長　高橋徳行

2）『キャズム2』ジェフリー・ムーア　川又政治訳　翔泳社　電子書籍版（2018年）（紙の書籍もあり）
第1章ハイテク・マーケティング　錯覚　　から引用・要約（電子書籍のためページなし）

3）（株）サウンドファン　ホームページ　https://soundfun.co.jp/（2019年6月24日閲覧）

事業部・委員会活動

# 環境経営士の活動事例と視点
# 2019年度持続可能な社会づくり活動表彰「環境大臣賞」受賞

CSR環境事業部

環境経営士 東使 弘三郎

## 1．はじめに

私が勤務する照明メーカーのプリンス電機株式会社は、2019年度持続可能な社会づくり活動表彰で企業として初めて「環境大臣賞」を受賞しました。2003年から構築し、実施してきたこの受賞活動をご紹介します。

環境経営士は、地域や社会、及び、企業のニーズと期待を把握し、企業の特徴（特に強みほどで無くても良い）を活かした活動をする必要があります。目的の環境や社会への貢献と企業経営への貢献を両立させることで企業が継続できる活動となり、持続可能な社会づくりで「誰も置去りにしないために」（SDGs理念）する社会を創造していく一助を担えます。

## 2．持続可能な社会づくり活動表彰の概要

公益社団法人環境生活文化機構が主催、環境省の後援で2016年度より「持続可能な社会づくり活動表彰」として始まり4回目となります。地域社会・国際社会への貢献、資源循環環境教育及び生物多様性保全活動等、豊かな環境を引き継ぐため、環境、経済、社会が一体となった持続可能な社会づくりに資する活動を行う企業・団体を表彰しています。

## 3．受賞活動と受賞理由

受賞活動は『地域・社会に寄り添う環境教育と広報「スリムエコ®活動」』で、持続可能な社会を目指した環境・社会啓発活動として、審査委員会に高い評価を得ました。活動のひとつ「スリムエコ®講座」は、独自の環境教育講座を創り、地域・社会と協働し、サプライチェーン、学校や団体、市民や企業へ実施しています。さらに、もうひとつの活動は、多様なマスコミへ地域や企業の環境情報を提供、独自の「環境コミュニケーション広報」を構築し、自社PRにもなる環境・社会啓発の報道記事を誘引しています。

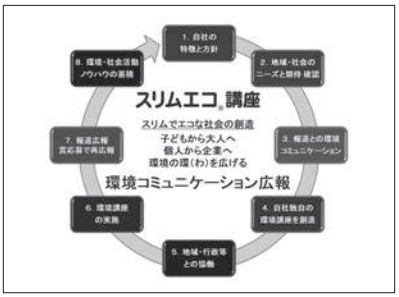
本業の照明知識、ISO（環境・品質・労働安全衛生）認証や横浜型地域貢献企業である自社の特徴、従業員の能力を活かし、自社らしく地域と社会に寄り添った身近なテーマで幅広い層・分野へ情報発信することで、社会貢献とすべてのステークホルダーから継続した信頼につながる三方よし（ステークホルダーよし）の活動としてきました。また、スリムエコを知識の教授やセミナー企画で「商標登録」し、自社の独自活動をPRしています。

## 4．おわりに

環境経営士の視点は、社会のニーズと期待に応え、企業経営の継続に寄与するものです。15年以上前から私の環境・社会活動は、企画段階でマルチステークホルダーを挙げて、相互のメリットやデメリットを考え、独自のマーケティングミックスを開発して具現化してきました。

今後は、環境経営士として、従来の講座や広報活動に加え、機会を頂ければ、中小企業への企画提案やアドバイスなど環境経営の環（わ）を広げる活動をしたいと思います。

（横浜商工会議所での「広報戦略的環境活動を創る」講演）




（環境教育と広報の活動ストーリー）

（表彰式での環境大臣賞事例発表）

事業部・委員会活動

# 「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の分科会を令和2年1月20日 東京開催決定

SDGs委員会

2019 年度の上期より「日本経営士会として SDGs の取り組みを強化」する目的で、理事会の承認を得、本部組織として SDGs 委員会がスタートしました。日本経営士会は７月に「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム（以下プラットフォームという）」の３号会員に申請し登録されました。国は課題の一つである地方創生を SDGs の共通言語を官と民で連携して解決しようとしています。具体的には内閣府地方創生推進事務室と運営事務局((株)三菱総合研究所）が広範なステークホルダーとのパートナーシップの深化、官民連携の推進を図るためプラットフォームを立案されて、今年で 2 年目となりますが、実質的には令和元年が SDGs のスタート年といわれております。本会においても地域の持続可能な開発すなわち地方創生に貢献すべく、自治体、小規模・中小企業における諸問題・課題解決のための連携を行う過程でビジネスチャンスが生まれることを期待しています。

会員には１号会員が自治体、２号会員が日本国の省庁、３号会員は銀行・信用金庫など金融機関を含む一般企業、社団法人、NPO などで構成されており、会員登録数は 2019 年 12 月現在で、1,000 団体を超えました。会員としてのメリットは、他の会員が主催するイベント、分科会、各地域で開催される SDGs 関連の催事などの情報が、運営事務局からメルマガで会員のみに月２回ほど発信されます。このメールは本会の理事・支部長各位と SDGs 委員メンバーなどへメール転送を行っております。経営士、経営士補および環境経営士の皆さんは興味のある催事があれば参加可能です。是非ともご活用して頂きたくお願いいたします。また、会員は独自の内閣府地方創生推進事務室直轄の分科会を構築することができます。分科会の趣旨は「**SDGs** の手法を使って**地方創生**を**官**(政府・自治体)と**民**(金融機関を含む企業)が**連携**して成功させる」テーマなら内閣府が採択をします。本会は、以下２つの分科会を申請し登録されました。

■ #29 分科会テーマ：

## 中小企業・サプライチェーンに SDGs・CSR・環境経営の普及

企業、中でも中小企業、サプライチェーンに対して SDGs・CSR・環境経営を普及することにより持続可能な経営と SDGs 169 のターゲットから地方創生にも供しうる新規事業が促せます。

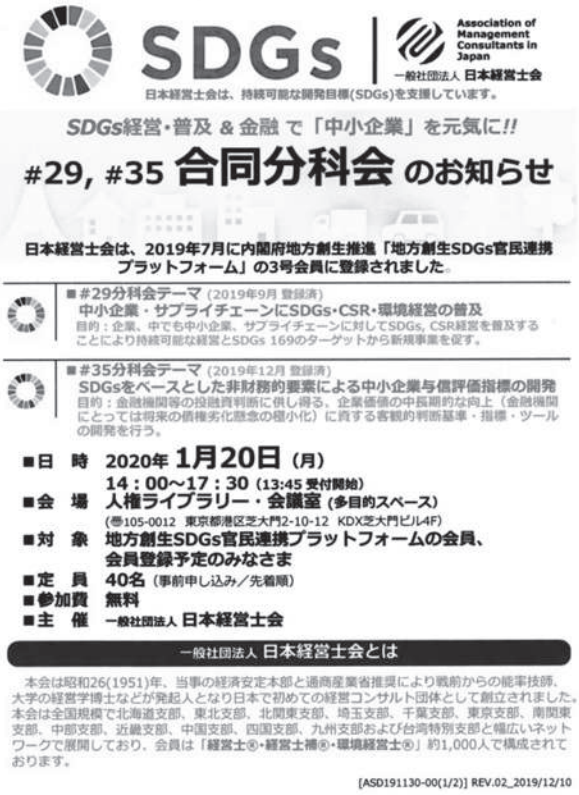
■ #35 分科会テーマ：

## SDGs をベースとした非財務的要素による中小企業与信評価指標の開発

金融機関等の投融資判断に供し得る、企業価値の中長期的な向上（金融機関にとっては将来の債権劣化懸念の極小化）に資する客観的判断基準・指標・ツールの開発を行います。

※本件は南関東支部神奈川経営支援センターの提案です。

【 図 1. 開催要項 】


SDGs
日本経営士会は、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。
Association of Management Consultants in Japan
一般社団法人 日本経営士会

SDGs経営・普及 & 金融 で「中小企業」を元気に!!

#29, #35 合同分科会 のお知らせ

日本経営士会は、2019年7月に内閣府地方創生推進「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の3号会員に登録されました。

■#29分科会テーマ (2019年9月 登録済)
中小企業・サプライチェーンにSDGs・CSR・環境経営の普及
目的：企業、中でも中小企業、サプライチェーンに対してSDGs, CSR経営を普及することにより持続可能な経営とSDGs 169のターゲットから新規事業を促す。

■#35分科会テーマ (2019年12月 登録済)
SDGsをベースとした非財務的要素による中小企業与信評価指標の開発
目的：金融機関等の投融資判断に供し得る、企業価値の中長期的な向上（金融機関にとっては将来の債権劣化懸念の極小化）に資する客観的判断基準・指標・ツールの開発を行う。

■日　時　2020年 1月20日 (月)
14：00～17：30 (13:45 受付開始)
■会　場　人権ライブラリー・会議室 (多目的スペース)
(〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル4F)
■対　象　地方創生SDGs官民連携プラットフォームの会員、会員登録予定のみなさま
■定　員　40名 (事前申し込み／先着順)
■参加費　無料
■主　催　一般社団法人 日本経営士会

一般社団法人 日本経営士会とは

本会は昭和26(1951)年、当事の経済安定本部と通商産業省推奨により戦前からの能率技師、大学の経営学博士などが発起人となり日本で初めての経営コンサルト団体として創立されました。本会は全国規模で北海道支部、東北支部、北関東支部、埼玉支部、千葉支部、東京支部、南関東支部、中部支部、近畿支部、中国支部、四国支部、九州支部および台湾特別支部と幅広いネットワークで展開しており、会員は「経営士®・経営士補®・環境経営士®」約1,000人で構成されております。

[ASD191130-00(1/2)] REV.02_2019/12/10

2019 年 12 月現在、内閣府地方創生推進事務室に登録されて分科会は 35 となります。
本会主催の分科会が 2020 年 1 月 20 日に同時開催する運びとなりました。図 1.開催要項を参照。
別途　日本経営士会のホームページなどで公開します。

## ■分科会プログラム

**◆14:10～15:20　第一部　基調講演**：

◇テーマ: 中小企業・サプライチェーンに SDGs･CSR･環境経営の普及

◇講　師: 一般社団法人日本経営士会　中日本ブロック理事 SDGs 担当理事　鈴木 和男

**◆15:30～16:20　第二部　講演**：

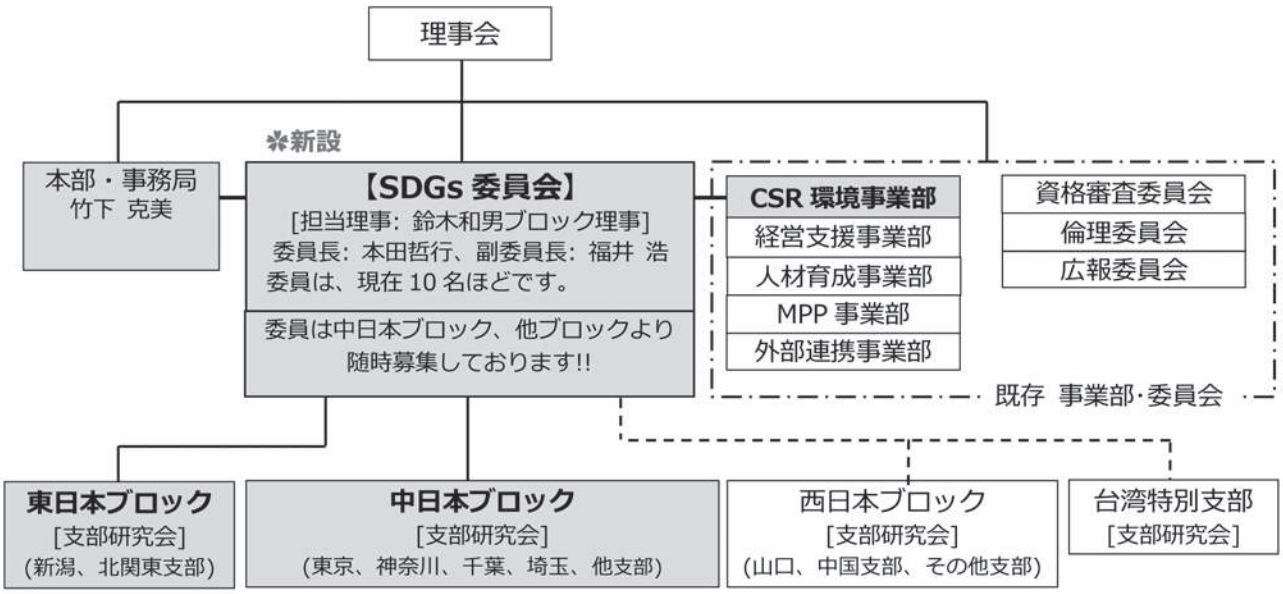
◇テーマ: SDGs をベースとした非財務的要素による中小企業与信評価指標の開発

◇講　師: 一般社団法人日本経営士会　南関東支部　SDGs 委員　横田 英滋

**◆16:30～17:30　第三部　意見交換会**：

◇参加者による自由討議

## ■ AMCJ-SDGs 委員会の体制




◆ 当面は、塗潰しの部分(組織)より推進しております。
◆ SDGs 研究会を発足して頂いた支部または予定の支部より随時、本部の「SDGs 委員会」へ参画して頂きます。
各支部より 1 名程度の選出をお願いしております。また、遠方支部の方々は、本部・事務局に導入済の web 会議ツール「Zoom」によって参加して頂けます。

今後は、重点的に各支部とで連携をとり、経営士、経営士補および環境経営士が、各地域の企業・団体・自治体などの抱えている緒問題・課題などを持続可能な経営を最優先に「SDGs 支援ビジネス」を展開できるように当委員会と全国支部とで「プラットフォーム」を活用しながら SDGs 関連情報、ノウハウの構築とその情報提供などを行ないます。その結果、本会が SDGs 支援力の知名度アップにも繋がり、更なるうえを目指せると考えております。皆さまのご理解とご協力を頂けますようよろしくお願い申し上げます。

✎◆分科会会員登録数は約 1000 団体の各支部、県別に分類した自治体会員（1 号会員 EXCEL）表を別途支部長宛てにお送りします。
経営士、経営士補、環境経営士が近くの自治体が会員になっているか？会員の SDG s に対してどのように取り組もうとしているかこの表を見ればわかります。当会も会員ですから、自治体と連絡を取ることは可能です。
◆SDGs 委員会からのお願いですが、各支部での催し(新年会など)で、この分科会の伝達・周知をお願いいたします。
詳細は日本経営士会のホームページ、CSR 環境事業部のページに開催案内を公開する予定です。

事業部・委員会活動

セミナーのご案内

# 「経営改善プロフェッショナル養成講座」開催のご案内

経営支援事業部

昨年の台風19号の影響により、開講が延期となっていた「経営改善プロフェッショナル養成講座」ですが、本年2月に以下の通り開催することが決定しました。本講座は、認定経営革新等支援機関の一員である日本経営士会が、「経営改善計画策定支援」業務に必要とされる知識のエッセンスを、効率よく修得していただくことを目的として開催いたします。本講座を修了された方には、「経営支援アドバイザー」資格を授与しますので、経営改善支援の専門家としてご活躍いただくことが可能です。

## ■経営改善プロフェッショナル養成講座・開催概要

**◆主な学習内容：**

・「経営改善計画」等の事例　・認定経営革新支援機関業務の位置づけ

・中小企業金融をめぐる現状認識　・経営課題の把握　・経営改善施策の策定

・計数計画の策定　・金融支援策の策定　・バンクミーティング　・モニタリング　他

**◆受講メリット：**

・経営改善計画の策定支援に必要な基礎知識とノウハウを、短期間で習得できる。

・修了者には「経営支援アドバイザー」の資格が授与されるため、認定経営革新等支援機関の一員として、「経営改善計画」の承認支援等の業務に携わることが可能となる。

**◆対　　象：**

基礎的な会計・戦略立案に関する知識をお持ちの方。なお、会計等に関する基礎知識に不安をお持ちの方は、E-ラーニング講座「Air Course」の会計や戦略立案関連講座を予めご視聴の上ご参加ください。詳細は以下をご参照ください。詳細は(一社)日本経営士会HPに掲載中の「経営改善プロフェッショナル養成講座」紹介頁をご確認ください。

**◆講　　師：**川又 義寛(経営支援アドバイザー)、藤原 義宏(経営支援アドバイザー)

＊講師のプロフィール詳細やタイムテーブル等は、上記紹介頁をご確認ください。

**◆開催日時(2日間)：**初 日：2020年2月23日(日)　10：00～17：30

2日目：2020年2月24日(月)　9：30～17：30

**◆会　　場：**(一社)日本経営士会　本部会議室

**◆定　　員：**16名

**◆受 講 料：**30,000円(税込)

**◆申込締切日：**2020年2月14日(金)　＜先着順＞

**◆お申込み：**(一社)日本経営士会 本部事務局　office@keieishikai.com

# 講座案内

経営支援事業部

8ヶ月間練り上げて、あの講座が超バージョンアップ!!
さらに実践的で高度な内容が盛り込まれました！

# 『経営革新計画プロフェッショナル養成講座』
## 「経営支援アドバイザー」資格取得講座

### ■ 受講メリット

・経営計画策定支援はコンサルの総合力が要求されます！
　そのためスキルが高いコンサルタントとして評価されます。
・商工会議所等からの仕事を受けやすくなります。
・経営革新計画策定後の計画実行も支援すれば企業と長期の関係を築けます。
・経営革新計画策定のスキルは、経営計画策定他、幅広い支援に活用できます。
・経営革新計画は補助金申請にも有利になります。
・経営革新計画認定企業は銀行、取引先からの信用が高まり事業に好影響があります。

## 経営革新計画とは、新たな取り組みを行う中期計画

### ■ カリキュラム

**第1日**

| 時間 | 内容 | 時間 | 担当講師 |
|---|---|---|---|
| 10:00～10:10 | 開講にあたって<br>副会長挨拶、講座の目的と進め方 | 10分 | 佐藤 |
| 10:10～10:30 | 経営支援アドバイザーと認定支援機関の役割 | 20分 | 豊田 |
| 10:30～12:00 | 経営革新計画の紹介と申請書の書き方<br>承認の特典、審査基準、書き方、ヒアリング項目 | 90分 | 越智 |
| 12:00～13:00 | 昼食 | 60分 | |
| 13:00～14:30 | マーケティング応用（市場の見極め、顧客心理、他）<br>新規事業展開・実行計画の考え方 | 90分 | 豊田 |
| 14:30～14:40 | 休憩 | 10分 | |
| 14:40～16:10 | 数値計画のつくり方<br>費用算出の仕方 | 90分 | 越智 |
| 16:10～10:20 | 休憩 | 10分 | |
| 16:20～18:00 | 経営革新計画演習<br>1）演習の進め方について<br>2）与件情報の説明<br>3）質疑応答<br>4）個人演習 | 100分 | 越智 |

**第2日**

| 時間 | 内容 | 時間 | 担当講師 |
|---|---|---|---|
| 9:30～14:20 | 経営革新計画作成演習<br>演習続き<br>（途中12時～13時昼食） | 290分 | 越智<br>豊田 |
| 14:20～14:30 | 休憩 | 10分 | |
| 14:30～16:00 | 経営革新計画プレゼンテーション<br>1）3～4名の発表<br>2）質疑応答<br>3）講師講評 | 90分 | 越智<br>豊田 |
| 16:00:～16:10 | 休憩 | 10分 | |
| 16:10～16:30 | 政策関連<br>経営力向上計画、ものづくり補助金等 | 20分 | 越智 |
| 16:30～17:00 | アンケート記入<br>修了式 | 30分 | 青木 |

（＊）決算書の見方、マーケティングの基礎（環境分析、STP、4P)はご存じとの前提での講座です。
これらの内容に明るくない方は、経営士会のe-Learning講座でそれぞれ「中小企業の会計と財務諸表の見方」「事業開発とマーケティング基礎」を事前に受講してください。（受講申込は本部　竹下まで）

（＊）カリキュラム及び時間配分は変更することがあります。

●開催日：　２０２０年３月２８日（土）～３月２９日（日）
●会　場：　日本経営士会本部　会議室　東京都千代田区二番町12-12　B.D.A.二番町ビル5階
●定　員：　２０名
●受講料:　３０,０００円（税込）　クレジットカードでの支払が可能になりました。
●申込締切日:　２０２０年３月２３日（月）　＜先着順で3／23より早まることもあります＞
●問合せ先：　本部事務局　竹下　TEL　03－3239－0691

事業部・委員会活動

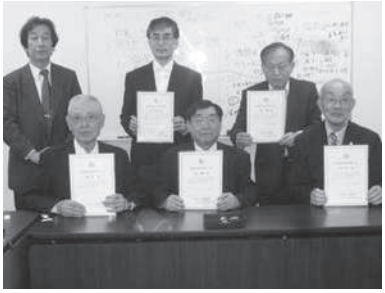
# MPP委員会からのお知らせ

MPP委員会

「MPPリーダー養成研修」、「リーダー登録更新研修」は、支部・県会主催で実施されます。この度、東京支部主管で10月11月に以下の方々がリーダー更新されました。MPPリーダー有効期間は5年間です。リーダー資格が無い・期限切れの方がMPPリーダーを担当することはできません。5年を超えてまだ更新できていない方、また、「養成研修」受講希望者（原則20単位取得）は各支部長にご連絡・ご相談お願いします。また、2019年3月に新規登録されましたMPPケースは、CDで各支部長に配布しております。是非、ご活用ください。

**★中日本ブロック（主管：東京支部）リーダー更新研修**

開　催　日：2019年10月20日　10:00～17:00　本部会議室
参加修了者：津田　嵩／塚本 裕宥／鶴岡 義明／
佐藤 信枝／金子 勝祐　（順不同・敬称略）
講　　師：日野 隆生



**★中日本ブロック（主管：東京支部）リーダー更新研修**

開　催　日：2019年11月15日　10:00～17:00　本部会議室
参加修了者：小西 洋三／中杉 保雄／小林 敏雄／
豊田 賢治／高橋 栄一　（順不同・敬称略）
講　　師：日野 隆生

**★その他**

養成受講者・・北関東支部　臼井 邦夫、東北支部　桔梗 美紀
更新者・・・・北関東支部　森川　昇、深井 雄二、鈴木　勇　（順不同・敬称略）

## ＜これからのMPP研究会・リーダー養成・更新研修　開催予定＞

| 日 | 時 | 開催支部名 | 内容 | 会場 |
|---|---|---|---|---|
| 1/25 | 13:30～17:00 | 新潟県会 | 第 25 回公開 MPP | まちなかキャンパスの 501 |
| 2/1～2/2 | 支部問い合わせ | 東北支部 | 東北支部公開 MPP（宿泊研修） | 福島県（母畑温泉） |
| 2/15 | 13:30～17:00 | 新潟県会 | 第 26 回公開 MPP | クロスパルにいがた 402 |
| 2/29 | 13:30～16:30 | 茨城県会 | 公開 MPP | ひたちなか商工会議所 |
| 3/14 | 13:00～16:00 | 近畿支部 | 公開 MPP | 貸会議室　pace 南森町 |

＊会場その他詳細・お申し込みは各担当支部へお問い合わせください。
＊各支部MPP担当者は、委員会並びに本部田中さんに今後のスケジュールをお知らせください。

# 女性経営士の会 NJK活動報告

10月27日、恒例となった「東京ウイメンズプラザフォーラム」に参加しました。テーマは「働き方を考える」～「好き」を仕事に活躍する女性たち～です。多様化する社会で柔軟な働き方を選んだ女性2名にスポットを当てて登壇をお願いしました。

女性だからできること、女性だからとハードルも高かく、立ちふさがる壁もあります。そんな彼女たちの努力や生きざまをお聞きしました。

**小峰 ゆみ**さん

保育士の免許を活かし、ナレーターや司会業を経て人形劇に出会い、現在はご自分で「ぶどうの音符」を主催し幼児教育界で活躍しています。

**荒尾 裕子**さん

経営士、環境経営士、健康経営士、その上現在大学院生と多彩な顔を持ちマルチに活躍するその原点は何かとお聞きしました。

11月24日、Web会議の効果的な進め方

今年度、全国規模で会員同士のコミュニケーション強化をテーマに活動したNJKにふさわしく話題のZoomを使用しての効果的会議の進め方講義を行いました。

担当講師は、土橋るみこ副会長です。

研究会通信

# 第8回生産研究会の報告

生産研究会

第8回生産研究会は、11月22日（金）に進化する通信方式「5G」の特徴・利用と5Gビジネス及び現場活用について、調査報告を行い討議しました。

この実施内容についてご報告致します。

1. 会場：三鷹商工会館　　参加者：7名

2. 実施内容：

## 2.1　5Gの特徴と利用について　（西　満幸氏）

「5G」のプレサービスがついに日本で始まった。あらゆる産業を激変させる可能性を秘めている。

### (1) 5Gの特徴：現在（4G）との比較

・超高速大容量通信　　100倍（1Gの100万倍）

・超低遅延通信　　1/10　1ミリ秒程度

・多数同時接続　　100万台/㎢（自宅部屋に100台の端末）

＊基地局は約800mに1基（現在は数㎞に1基）＊

### (2) 5Gの利用：

| 機能・産業 | 用　　途 |
|---|---|
| ①自動運転<br>（高精度で柔軟な制御） | ・自動車　　・建設機械（無人施工）<br>・ドローン：防災減災 |
| ②製造などの産業機器機<br>生産管理<br>維持管理・修繕 | ・ロボット通信＆相互通信<br>（有線➡モバイル通信 Wireless）<br>・AR インフラ維持管理、修繕 |
| ③医療 | ・遠隔医療　　・遠隔手術 |
| ④スポーツ・エンターテイン | ・AR/VR 活用で超臨場感 |
| ⑤農業・漁業・林業・畜産 | ・遠隔作業（自宅で作業） |
| ⑥教育 | ・AR 遠隔授業 |
| ⑦金融（銀行、保険、証券） | ・与信　　・保険（ウエアラブル） |
| ⑧買い物 | ・自動追尾カード・冷蔵庫連携・自動精算 |

### (3) 通信方式は10年ごとに進化：

・2010年代はより高速化した「4G」

・2020年代は利用シーンを急拡大させる「5G」、6Gの検討開始。

## 2.2　5Gがもたらすビジネスへの波及と企業変革について　（山本　忠氏）

**(1) 産業界・企業の動き：**

①製造業

・あらゆる機械をつなぎ、レイアウトを自在に変えられるスマート工場への変貌に向け、企業・大学・通信事業者との連携による実証実験や実機活用が進展している。

・製品や生産ラインに取り付けられた多数のセンサーの情報をリアルタイムで収集し、サービスの向上や生産の効率化に取組んでいる。

②他産業

| 産業・分野 | 動向・取組状況 |
|---|---|
| 交通 | ・乗物から「モビリティサービス」へ、鉄道車両の高速移動中でも通信が可能<br>・Maas、自動運転等の実現化へ取組んでいる。 |
| エネルギー・ユーティリティ | ・スマートメーター、分散型電源の管理、大型発電施設の遠隔管理など（省エネ、効率化） |
| 医療 | ・医療手術、遠隔医療への実用化を進めている。 |
| 警備や防犯 | ・AI を導入し、空陸から監視、ドローンを活用した警備の実現を進めている |
| 建設 | 建設機械の遠隔操作による連携作業の実証実験や実施が進む（建設企業、電機企業、通信事業者） |

素材・部品企業　＊5G素材の相次ぐ増産と5G部品に投資を本格化し、部品市場に攻勢をかけている。

**(2) 地方で期待の大きい「ローカル5G」については、今後注視していくことが大切である。**

## 2.3　本研究会のまとめ：

国内での商用サービス開始を来春に控える5G、あらゆる産業にインパクトをもたらす5Gについて、産業界・企業のビジネス成長への期待は大きいが、5Gの課題と予想されるリスク（セキュリティー、プライバシー、都市と地方、地域間でのデジタル格差）を把握し、取り組み対応することが重要に思われる。

### 第9回生産研究会開催のお知らせ

◆令和2年2月28日（金）午後6時より三鷹商工会館で開催

◆テーマ：デジタルの技術進化にともなうモノづくり

（山本　忠　記）

## 中日本ブロック活動報告
# 2019年度日本経営士会「新入会員の集い」開催報告

12月8日（日）14時から、日本経営士会本部会議室（四ツ谷）で、中日本ブロック主催による「新入会員の集い」が開催されました。2017年1月から2019年10月までの各養成講座修了生（経営士・経営士補・環境経営士）、推薦・試験入会者、そして養成講座講師と運営関係者の総勢45名の方々にご参加をいただきました。近畿支部から3名、東北支部や静岡経営支援センターからと遠方からのご参加もありました。

第1部は、担当幹事の大蔵充夫東京支部副支部長の司会により、近藤安弘専務理事のご挨拶から始まり、新入会員と講師陣・運営関係者の自己紹介、そして計9名の新会員からの活動報告の発表（15分）と続きました。吉村千鶴子会員（北関東支部）の「女性起業家支援」の活動の発表から始まり、AI・IoT・RPAなどの最新テクノロジー関連、SDGsへの取り組み、成果を上げ続ける人財育成、中小零細企業での働き方改革など、大変参考になる素晴らしい9名の方々からのプレゼンテーションがありました。

9名の発表者には近藤専務理事から記念品の贈呈があり、主催者の鈴木和男理事（中日本ブロック長兼東京支部長）からの閉会挨拶で、第一部は予定通り17時半に終了いたしました。

そして第2部は、18時からJR四ツ谷駅前の中華料理店に場所を変えて、懇親会を兼ねた大忘年会が開催されました。戸部廣康南関東支部長の乾杯挨拶にはじまり、島影教子NJK（女性経営士の会）会長の中締めまで、皆さんグラスを片手に席を移動しながら、名刺交換と自己紹介、また久しぶりにお会いした養成講座同期の方々との語らいとともに、大いに盛り上がりました。

参加の皆様から、今後もこのような交流イベントを開催してほしいとの声が多く出され、鈴木理事からはこれからは定期的に開催できるようにしたいとの話がありました。また、今後とも中日本ブロックで開催される多くのイベントには、他エリアの皆様のご参加も大歓迎ですので、是非ともご参加いただき、人脈の拡大や会員相互の情報交換による知見拡大に、大いにお役立ていただければと存じます。

（発表中の吉村千鶴子会員）

（発表に聴き入る会員）

（閉会挨拶の鈴木理事）

（第1部の参加会員）

（懇親会風景）

（東京支部広報　大宮 政男）

## セミナー報告

### 経営士個人のホームページでの、情報発信力向上を目指して！
### 中日本ブロック主催“上手な伝える技術”セミナーの結果報告
### － 初歩的なテンプレートとなる、“ホームページのソースコード”を提供 －

**（経緯と目的）**

ポリテクセンターからの受託の一環で、住宅販売会社のホームページを作成する子会社向けセミナーを、東京支部で実施した。

セミナーの内容が、鈴木ブロック長の目にとまり、経営士向けのセミナー実施となり、中日本ブロック主催として、拡大実施することになった。

会員自身でホームページの作成ができることを実際のホームページのソースコードで説明した。ホームページでの情報発信による会員のビジネス拡大と、経営士会内で、“誰が何ができるのか？を知る手段”など活用できることが目的。

**（実施概要）**

日時：2019年10月5日（土）13:30 ～ 17:30　　於：本部会議室　　受講料：2,000円

講師：児玉 充晴（千葉支部）

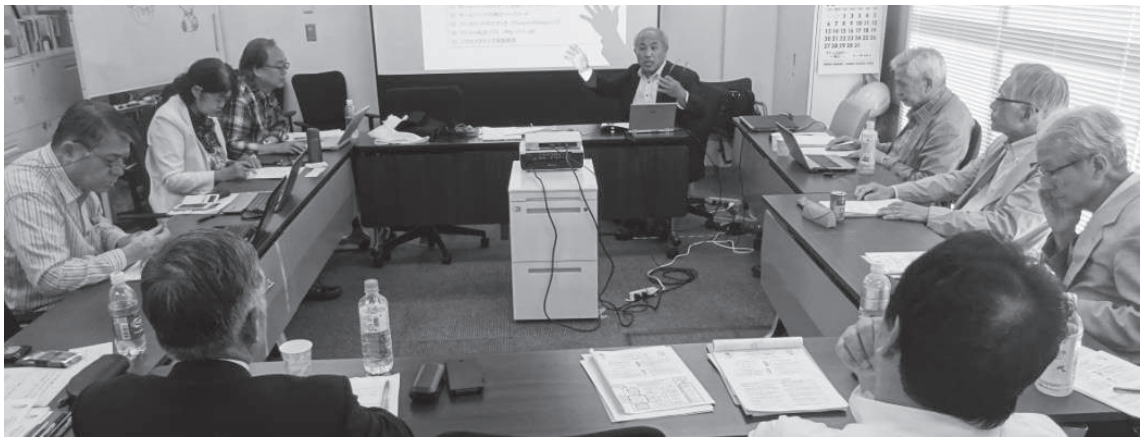
(1) 情報化時代の先進的な営業の基本的考え方、伝える内容の構造設計法

(2) 伝える技術の各種ノウハウと、チェックシート36か条および作成事例

(3) ホームページ作成の各種検討様式、経営士会HPを例とした改善事例

(4) 自分をPRするホームページの、カスタマイズ実施要領の解説

テンプレートのソースコードの意味と変更方法、ネットへのアップ方法等



**（アンケートでの満足度）　　参加者：　13名**

(1) 上手な伝える技術のセミナー　・・・・　9.5/10

(2) カスタマイズ実施要領の解説　・・・・　9/10

**（アンケートでの主なご意見）**

(1)「お金を払う人が何の価値を認めるか？」が、伝える視点で新鮮だった。

(2) 顧客の声を基点に、伝え方を展開する手法は素晴らしく、是非トライしたい。

(3) 簡単ではないが、具体的に自分でやってみて、理解を深めたい。

(4) 新しい考え方に基づく、中日本ブロックのホームページのアップを期待します。

(5) 今後、SNS、フェイスブック、LINEなどの活用法のセミナーをして欲しい。

会員の輪

# 「私のコンサルティング作法」

中国支部　会員番号5347　梅本 泰則

皆様は普段どのようなコンサルティング技法を使っておられるでしょうか。コンサルティングの方法は、コンサルタントの数だけあると言われています。今回は私のコンサルティング方法を簡単にご紹介しましょう。

## 【コンサルタントに必要な3つの力】

まず、私はコンサルタントには「3つの力」が必要だと思っています。その3つは「話す」「書く」「聞く」です。「話す」というのは、講演、セミナー、研修などの場で「分かりやすく伝える」能力のことを指します。「書く」というのは本、雑誌、新聞、ネットなどで自分の考えや事例を「分かりやすく書く」能力のことです。「聞く」というのは、コンサル相手の話をよく聞き、本質的な問題点を探りながら課題解決をしていく能力に当たります。

この3つの能力は自然に身につくものではありません。話す技術も書く技術も、それなりに基本を勉強して訓練をしないと上達しないでしょう。「聞く」力も同じことが言えますが、これは特に実践を重ねていくことが大事だと思っています。いくら経営理論や財務に通じていても難しいのがコンサルティングです。また、時流に関する話や専門知識をひけらかしても大した役には立たないのが現実でもあります。ですから、この3つの力の中で最も重要なのは「聞く」力ではないでしょうか。そこで、私の「聞く」方法、つまり問題解決法についてご説明します。

## 【梅本式問題解決法】

コンサル顧客の抱える問題、課題はそれぞれです。つきつめれば、「経営者自身」や「経営計画・戦略」の問題になってしまうことが、往々にしてあります。しかし、最初からそうした本質的な問題を持ち出して解決しようと思っても、相手はなかなか動きません。また、コンサルタントがよく使う「フレームワーク」で進めても、うまく理解されないものです。

そのため、私はコンサルティングの初めには、まず目の前の小さな問題を解決することから始めることにしています。例えば「売上や利益を上げたい」「従業員のやる気を引き出したい」「お客を増やしたい」といった相談があったとします。顧客にとっては目の前の問題です。私は、この目の前の問題を解決するための簡単な技法を30以上持っています。いわゆる「即時問題解決法」です。その内容を詳しくは述べませんが、この方法を使えば短期間で成果が上がります。これはコンサルの現場で実証してきました。

とはいえ、この方法は短期の問題解決にはなっても、本質的な問題解決につながるとは限りません。コンサルタントの役割は、その本質的な問題の解決にありますから、そこに向かって行く必要があります。実は、そのために「即時問題解決法」があると言って良いでしょう。なぜなら、顧客の抱える目の前の問題が短期間のうちに解決されることで、コンサルタントとして信頼されることになるからです。そうなれば、難しい「本質的問題の解決作業」に入っていっても、顧客は素直に耳を貸してくれるようになります。すると、結果的に顧客の本質的問題解決につながり、格段に成長していくことになるのです。私はいつもその光景が見たくてコンサルティングを続けています。

■次回号のご執筆は、南関東支部の戸部廣康会員にお願いいたします。

会員広場

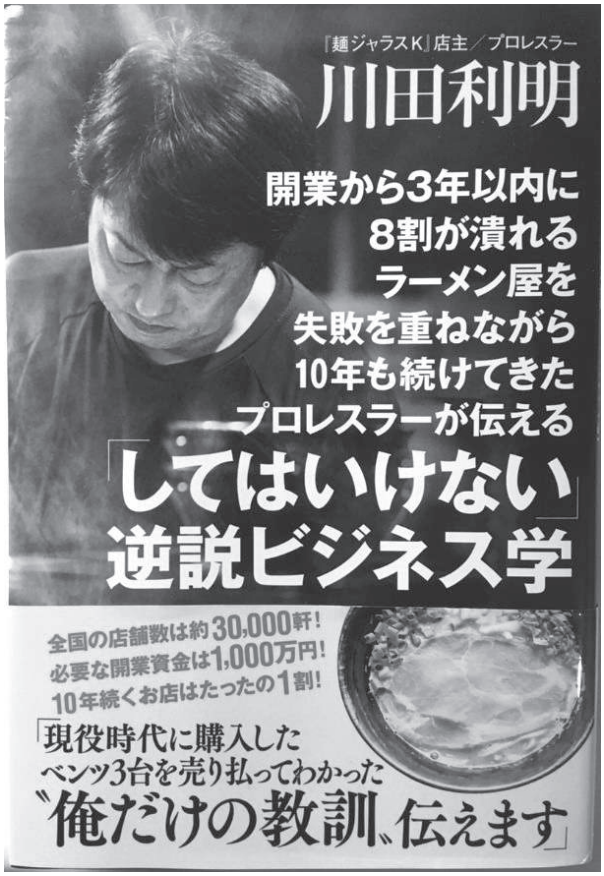
# 【プロレスと経営】（第17回）

堺　剛

## 「してはいけない」逆説ビジネス学

川田利明。かつての全日本プロレス四天王の一人である。ニックネームはデンジャラスK。三沢光晴や小橋建太との名勝負を繰り広げた川田の第二のリングはラーメン屋であった。2010年世田谷区に麺ジャラスKというお店をオープン。店は丸10年続いているが成功しているとは言い難いという。そんな川田が起業に関して、上手くいかないこと、失敗したことを赤裸々に語る。

川田は高校の先輩である三沢が2009年に突然リングで亡くなってしまったのをきっかけとしてプロレスに情熱を無くしてしまったという。プロレス以外にできることを探した際に料理しか頭に浮かばなかったそうだ。団体の中で美味しいちゃんこを作ることで有名だった川田。しかし、団体の中で予算を与えられるちゃんこ作りと、原価計算をきちんと行い儲けを得るラーメン屋は、全く別物であることを川田は知ったという。旨い麺を出せば客は来る！という固定観念でどんどん赤字を膨ませてしまい、プロレスで稼いだお金や車を全てスープに溶かしてしまったそうだ。




個人でラーメン屋を始める場合、お店の内装工事等で多額の初期投資がかかる。販売単価の安いラーメンではそれを回収するまでには気が遠くなる杯数を売らなければならない。

料理自慢の素人が他人から味を褒められたぐらいで飲食店を始めるなと川田は言う。なるほど！と思う理由が書かれている。生きた経営の教科書として是非読んで頂きたい。

（続く）

**堺　剛：**

経営士（会員番号5384）、環境経営士（認定番号244）。
株式会社バーニングスピリッツ代表取締役。バンダイビジュアル株式会社を始めとして、中小企業・外資系企業数社で経理のキャリアを20年以上積み2017年4月会社設立。
【事業内容】 1. パートタイム経理部長（月次決算早期化、キャッシュフロー計算書直接法作成　等）
2. 菓子専門商社業、菓子を用いた販売促進物・宣伝物の企画・製作
ホームページ：https://www.burningspirits2017.com/
電話番号：090-2733-0185　E-mail：tsakai@burningspirits2017.com

寄稿

# 武術と健康に関する話　（第16回）

平　直行

## ■ インナーマッスルとアウターマッスル

健康に関する内容のテレビや雑誌の数はとても多いです。それだけ多くの方々が健康に関する興味と欲求を抱えているからなのでしょう。先日見たテレビ番組はとても興味深い内容でした。肩こりや腰痛そしてぽっちゃりとしたお腹周りなど、健康に関心のある人たちが興味を抱くこれらの問題の原因がアウターマッスルの使い過ぎであり、その解決方法がインナーマッスルを正しく動かすことにあるという内容でその番組は進んでいきました。

アウターマッスルというのは外側の大きな筋肉でインナーマッスルというのはアウターマッスルの奥にある小さな筋肉です。古流の武術ではすでに1000年以上も前からこの原理に着目して実用の為の工夫を凝らしてきました。

番組では最新の医学でこの原理を解明したと言っていました。お！ついに医学もここに着目したのか！ようやく武術の原理と医学が重なってそれぞれの特色を生かし合いながら更なる発展の時代がやってくるのか？期待しながら番組を見ました。

番組の内容はまだまだ？が続く内容でした。番組ではインナーマッスルをいかに自分で動かすのか？そこに焦点が当てられていました。インナーマッスルは無意識の運動指令によって働きます。賛否両論があるでしょうが、これが古流武術から紐解いたやわらぎの理論です。番組では肛門を開いたり閉じたりすることでインナーマッスルが動きそれに伴いアウターマッスルを働かすことで問題が解決すると言っていました。しかし肛門を自分の意志で動かすことは案外難しいのです。そこから更に大きな動きを引き出すことは実に難しいのです。大陸の武術、日本の武術、そしてヨガでも同じことが伝えられています。これらには数千年の歴史があり、単独で肛門の動きを引き出すような簡単な身体操作は存在しません。

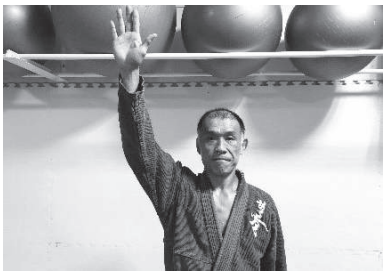
体の一部だけを動かすことは達人の域になります。達人に至る為に行う様々な体を動かす工夫がなければ肛門を自由自在に動かすことは困難になり、少しだけ動かしても効果は薄く、無理に一部だけを意識で動かせば、やがて体のバランスが狂い、将来的に体に問題が生じてしまう可能性さえあります。

武術の工夫でインナーマッスルを動かす運動を紹介します。もっともインナーマッスルという単純な分け方では、まだまだ不足している部分があるというのも古流武術を通した見方でもあります。

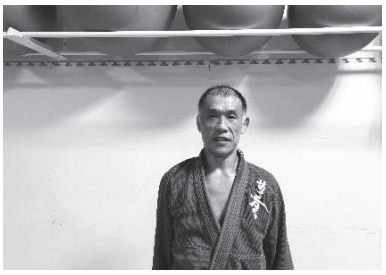
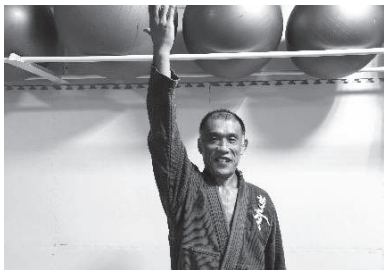
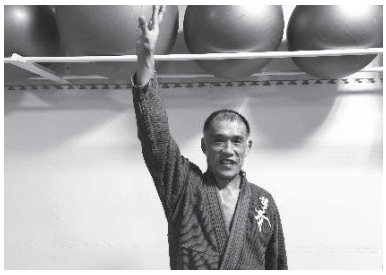
インナーマッスルの働かせ方に関する詳しい話は次号に続きます。良い気付きを頂いたことで番組に感謝しています。これから先、古流武術の身体理論と最新医学を共同で研究してくれる方との出会いを期待します。

インナーマッスルはバランスの維持と最適な身体運動を無意識に行うための筋肉です。つまりバランスを変化させるとインナーマッスルは働きだします。また体を動かす神経はしばらくの間働き続けます。この理論の応用の動きを紹介します。

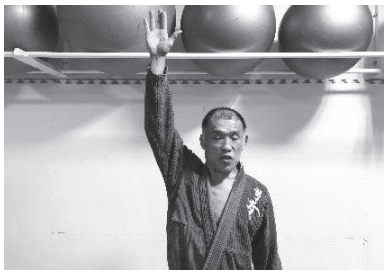
①腕を真っすぐ上に上げます。



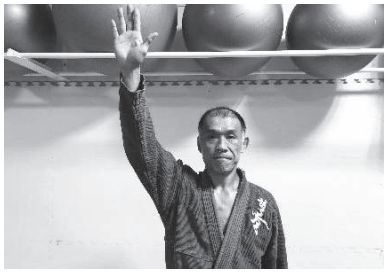
②一度腕を降ろしてから上に上げて内側と外側に3回回転させます。回転させる時は出来るだけ胸まで動きが繋がるように心がけます。

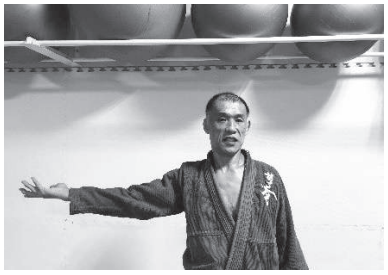
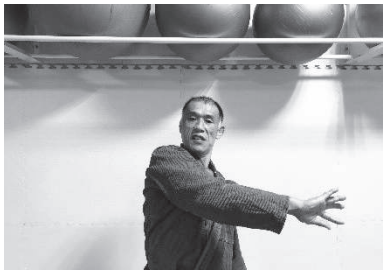
③もう一度腕を上げると、上下と回転のバランスが重なって動くので簡単に高く上がりだします。上に上げる動作は3回行います、神経が変わった動きを3回やると筋肉がその動きを覚えていきます。



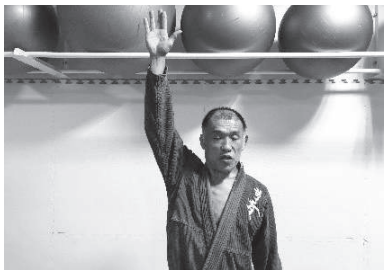
①腕を真っすぐ上に上げます。



②腕を回転させながら横で上下（内側～外側と外側～内側を各2回）

③2つの動きを終えたらそのまま腕を3回上に上げます。
（運動は2種類になります）



体のバランスが変わる運動を組み合わせれば、無意識の運動指令が働き誰でも簡単にインナーマッスルを動かすことが出来ます。

平 直行　HPアドレス　https://taira-world.com/（施術の予約はHPから受け付けております。）
企業セミナーも受け付けております。メールにてお気軽にご相談ください。
Naoyuki@taira-world.com
平直行の活動情報はペライチから見られます。
https://peraichi.com/landing_pages/view/tairanao

支部活動報告

# 北海道支部活動・事業計画の報告

北海道支部

北海道支部長　溝渕 新蔵

1. 新しい役員の活動「organization capabirities」

有能な副支部長、幹事長が病魔に襲われ、本夏に退会せざるを得なかったことが、全く慙愧に堪えない。そこで新しく会計の高村先生、副幹事長の須川先生らが急遽陣頭に立ちました。両人は極めて理論派、活動家で、頼もしい船出となりました。多謝。

2. 函館地区分会　12月2日(土)14:00 ～ 16:30　函館国際ホテルにて

函館地区　副支部長島尻、片石、廣澤、日下部、三上　(敬称略)

札幌　　溝渕支部長、須川幹事長　　計7名

議案　函館地区より　会計・監査報告、予算・事業報告、

札幌より会員動向、相互地区の景気分析等の討論。函館―札幌間は、JR特急で4時間少し、料金は往復15,000円。それでも札幌から出かける方が機能的と思う。できれば年2回の函館訪問して相互の活性化を図ろう。

合同研究、相互の研究議題を持ち寄り、分析と討論を行う。

3. 札幌における会議

MPP学習会は、新年度1月より、担当役員高村先生中心で行う。

本部情報の転送　支部長宛の情報を函館外、全役員に転送し、議論しよう。

会員2名による発表。経営士活動の理念(哲学)、マネジメントの研究報告。

SDGs研究を、(1月)小松氏(自社のPRセンター取り組みから事例発表と札幌三角山デジタル放送局との提携により経営士会のPRを。

経営士会の論文提出を目標に研究会を実施し、4名提出を望みたい。

4. マネジメント・コンサルタントの輪読

各自の自学を進めよう、重点項目の問題点の摘出及び解決策の議論しよう。本部からの貴重な情報を合同で吟味しよう。戦略記事の質の高いことを学習しよう。

5. SDGs学習は、経営士会挙げて学習されるようになって素晴らしい、溝渕は2000年大学院で研究テーマであった。会員合同で研究しよう。

6. 例月第三(土)を研究会とする。

幹事会を改める。会員参加と新会員の出席も期待し、研究会の名目で実施。新会員の気力旺盛には驚ろかされた。元気で宜しい。

7. 12月定例研究会

21日(第三土)14:00 ～ 16:00　JR札幌駅前55ビル　小樽商科大学札幌サテライト(大学のご好意で室料無料は有難い)。終了後忘年会を隣接の4F中華店にて実施する。

# 東北支部活動報告

東北支部

## 1. 第5期経営士補養成講座(仙台)閉講しました。

東北支部では以下の通り、経営士補養成講座(仙台)を開催しました。

期　　間　2019年9月7日(土)～ 11月9日(土)の5日間　10:00 ～ 17:00
受講時間　30時間・土曜日5回・一日6時間
会　　場　深田会計マネジメンツ研修室

11月9日(土)に無事閉講いたしました。受講者は8名全員が一度も欠席することなく参加され、非常にやる気のある受講生様でした。最終日は、「環境経営」と東北経済産業局様の「国の施策等」の講義でした。講義終了後は小論文作成となり、皆さん熱意ある論文を作成しておられました。

閉校式後は全員で懇親会を開催いたしました。古き良き時代あらあるエスカイヤクラブでの開催で、懐かしいような、それでいて逆に新鮮なような雰囲気で、大変盛り上がりました。受講生の皆さんは、。ぜひ経営士会の仲間となって東北支部の活動に参加して欲しいですね。

(受講生：工藤さん)

(受講生：平磯さん)

(受講生：津田さん)

(受講生：山崎さん)

(受講生：星さん)

(受講生：千葉さん)

(受講生：本間さん)

(受講生：佐藤さん)

(受講生の皆さんと当日の関係者)

## 2. 福島県母畑温泉で合宿MPPを開催します。

東北支部では以下の通り、経営士補養成講座(仙台)を開催中です。

日　　時　2020年2月1日(土)　15:00 ～ 20:30(宿泊必要)
会　　場　福島県母畑温泉　八幡屋
会　　費　一人2万円程度

MPP後は、第42回(2017年)プロが選ぶ「日本のホテル・旅館100選」で、全国では無名にも関わらず多くの有名旅館を抑えて、堂々総合第1位に輝いた名旅館八幡屋でおもてなしを学びながら懇親会です。どなたでもご参加できますので、母畑温泉でMPPとお酒を楽しみましょう。

(東北支部　表 伸也)

支部活動報告

# 2019年度 北関東支部MPP&MPPリーダー養成・更新研修

北関東支部

報告者　栃木県会　臼井 邦夫

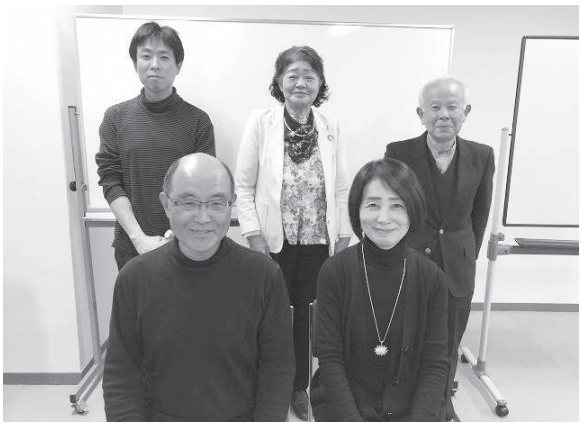
北関東支部は毎年5県会持ち回りで支部MPPを実施しており本年は栃木県会の担当で、栃木市にて開催しました。また、MPPリーダー養成・更新研修も実施しました。参加者は想定した人数よりも多くの21名（茨城4、栃木4、群馬1、長野2、新潟4、埼玉支部2、千葉支部1、東京支部1、東北支部1名、会員外1）が参加しました。

11月30日（土）午前リーダー養成・更新研修、午後リーダー養成を兼ねたMPP、12月1日（日）午前リーダー養成を兼ねたMPP、午後リーダー養成という効率的なスケジュールでの実施。

支部MPPでは担当県会がトライアルケースを作成して提供するのが慣例となっており、今回は栃木県会が2つのケースを準備して提供しました。初日のケースは「高齢社長の世代交代と自社株式対策」というテーマで、小売業の経営者が長男に事業承継しようとしているが、高く評価額された自社株式の問題をどうすべきか、最新の事業承継税制の検討も念頭にアドバイスを求めるものでした。また、2日目のケースは「事業承継を機に体質刷新を目指す青年社長へのアドバイス」というテーマで、体質が古く高齢化が進行する企業の経営を任された後継者の様々な悩みにどう応えるか、というものでした。いずれも事業承継という今日的課題を取り上げたこともあり各チームで活発な意見が交わされました。MPPのユニークさは、同じテーマでありながらメンバーの知識や経験、リーダーの考え方によって議論の経過と発表内容に違いが出るところにあり、事例の捉え方や結論の展開に「他のチームはそう考えたか」とうなずく参加者が多く、MPPの奥深さを楽しんでいました。

北関東支部MPPは参加者の負担を考慮し、ここ数年は1万4千円／ 1名（会員）で遣り繰りしています。10月に消費税が改訂され運営には工夫が欠かせません。栃木県会では、当初研修・宿泊・宴会丸ごと一つのホテルでおさめようとしましたが、予算が不足しそうなため、コスパを重視し、研修・宿泊・宴会・朝食全て別の会場で設定。その結果、予算のしわ寄せが行きがちな宴会でも十分に情報交換と懇親を楽しんでいただくことができたと思っています。新たにMPPリーダーが2名誕生、3名の更新研修も行い、2日間にわたる充実した支部MPPを終えました。

4チームの発表



MPPリーダー養成研修
（前列 受講生、後列右 塚本講師）

支部活動報告

# 北関東支部 新潟県会 会員研修会開催報告

北関東支部

北関東支部新潟県会は会員研修会を開催しましたので報告いたします。

日　時　令和元年　12月7日（土）15時00分～ 17時00分
会　場　クロスパルにいがた（新潟市中央区礎町）
出席者　新潟県会：磯部正美県会長、渡辺良男会員、木村泰博会員、西山茂会員、
粉川雅人会員、鈴木裕之会員、椎葉彰典会員、桑山一宏支部長

新潟県会では、恒例として新入会員入会後に会員研修会の講師をお願いしています。

今回は9月に入会いたしました椎葉彰典（しいば　あきのり）会員（食の高付加価値化研究所所長）に、テーマは「旬の短い地域特産品、未利用果実の利活用の具体的推進」、サブテーマとして「地域密着型のバリューチェーン構築」を講演していただきました。

内容としては未利用果実の利活用のため、生産者、1.5次加工事業者、製造者、販売者の4者連携ユニットとして、「事業スキームの構築　→　商品・サービス開発　→　販売促進・プロモーション　→　連携とコーディネート　→　事業成果」迄のステップを説明した成功事例に基づく内容でした。その後質疑応答、意見交換を行い終了しました。

（講師の椎葉会員と参加会員）

会員研修会終了後は、場所を移して懇親・望年会を行い、会員研修会では時間不足のところ和気あいあい活発な意見交換を行いました。

また、今回のテーマは、来年北関東支部主管で新潟で開催される全国研究会議の包括テーマ「地域の活性化と戦略」にマッチしたもので、来年を成功裏に終わらせることを願いながら中締めとなりました。

講師の椎葉会員と参加会員の皆様に感謝いたします。

（報告者　磯部 正美）

支部活動報告

# 千葉支部主管 第2回目“上手な伝える技術”セミナーのご案内

千葉支部

10月5日に開催された第1回目のセミナーを、好評につき千葉支部が主管で、中日本ブロック向けに第2回目を開催します。都合で第1回目に出られなかった方の、強いご要望にお応えしての開催になります。

ポリテクセンターの関係で実施した、大東建託の“いい部屋ネット”のホームページの改善セミナーの内容が、鈴木ブロック長の目にとまり、中日本ブロック主催として、経営士向けにセミナーを開催することになったものです。

会員個人のホームページでの情報発信によるビジネス拡大と、経営士会内で、“誰が何ができるのか？を知る手段”として、活用できることが目的です。受講者には、自分自身をPRするホームページのソースコードやエディタ、転送ツールなどを無料で提供しますので、受講後、自分をPRするホームページがアップできます。

**【セミナー概要（第1回目と同じ）】**

(1)情報化時代の広報の基本概念と営業の自動化設計法
(2)伝える技術の基本的考え方、会社パンフの作成法と改善事例
(3)ネットビジネスの基本的考え方と具体化のステップ、実施事例
(4)ホームページ作成の留意点と、各種ホームページの改善事例
(5)自分自身をPRするホームページの作り方と解説書の説明

**【セミナーの実施要領】**

日　　時：2020年2月8日（土）13：30～17：00　　定　　員：15名（定員で締め切り）
講　　師：児玉 充晴　中部大学 経営情報学部 教授
（工学博士／経営士／健康経営エキスパートアドバイザー）
受 講 料：2,000円（税込）（破格の受講料でノウハウを提供します。）
開催場所：JR船橋駅前　“フットケアなゆた”のセミナールーム
千葉県船橋市本町6-3-21　天沼コーポ6階603号室　　TEL：047-489-1304
**申し込みメールアドレス：enshin@js4.so-net.ne.jp　（山田 一　千葉支部長）**

## 「中小企業3Cの会」

**◆10月度開催報告（10月26日土曜日　船橋中央公民館）**
**テーマ「勝浦市の行政について」：黒川 民雄会員**

勝浦市市議会の議長でもある黒川会員から、行政の実態や議員として取組んできたこと、毎年リセットする個人の出来事についてのお話を聞くことができました。

**◆11月度開催報告（11月30日土曜日　船橋中央公民館）**
**テーマ「異常気象」～災害・被害は拡大する：山下 恭司会員**

千葉県でも台風15号、台風19号と続く風水害があった。異常気象による災害は、忘れる間もなくやってくるようだ。

（3Cの会の様子）

フィットケアの（株）なゆた　令和元年度千葉のちから「中小企業・小規模企業表彰」を受賞

6月から千葉支部と「足活健康経営における共同研究」をしてきた（株）なゆたが、地域に貢献する企業として千葉県から受賞されました。

「中小企業3Cの会」は、第4土曜日、船橋中央公民館で午後3時～午後5時開催予定。
千葉支部及び近隣支部の会員の皆様、ご参加をお待ちしています。終了後には親睦会もあります。
★問い合わせ先等については、山田一　enshin@js4.so-net.ne.jp　まで

（金子 昌夫 記）

## 以下に関心のある方には、有益なセミナーです。 是非、受講ください！

**1　営業力強化で、企業に寄与したい。**

営業マンの稼働の約8割は、ホームページでもできることを人間がやっています。

ホームページと人が役割分担して営業を効率化するノウハウが必要な時代です。

**2　自分自身をPRするホームページがほしい。**

テンプレートを提供しますので、まずはホームページをアップするところまでやってみましょう。

**3　ネットビジネスの実務の基本を勉強したい。**

ITの実務の基本が出来ていないと、企業へのコンサルは出来ません。

今回、自分でホームページをアップするところまで講義しますので、実務の基本が身につきます。

**4　ホームページ改善のノウハウを学びたい。**

すべての企業が困っているホームページ改善のノウハウを身につければ、コンサルの幅が広がります。

## 【 実施要領 】

日時:　2020年２月８日（土）　13:30～17:00　（1回の休憩をはさんだ3時間30分のセミナー）

定員:　15名（定員で締め切り）　　最終締め切り:　2020年２月５日（水）

講師:　児玉 充晴　　中部大学　経営情報学部　教授

（工学博士／経営士／健康経営エキスパートアドバイザー）

受講料:　2,000　円　（税込）　（破格の受講料でノウハウを提供します！）

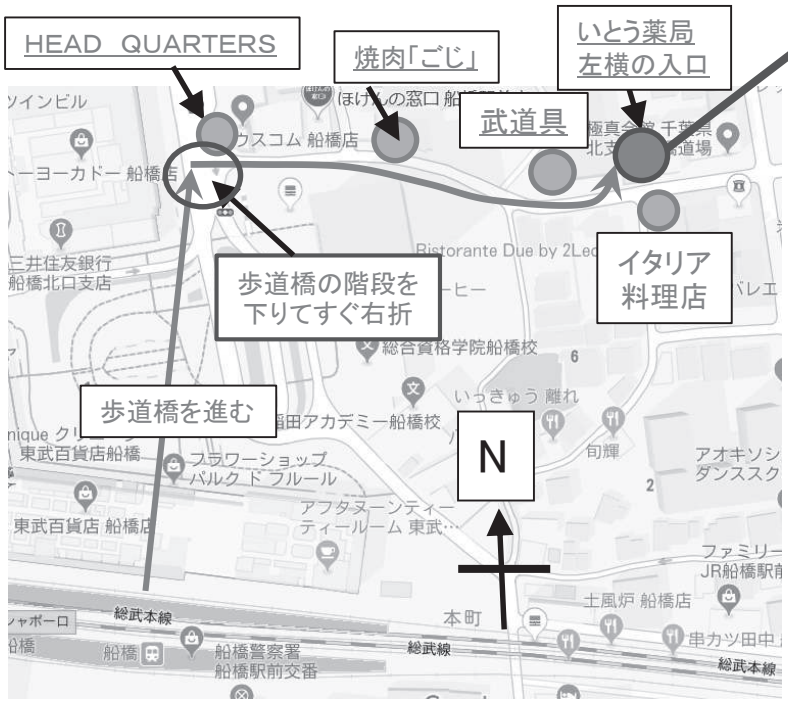
申し込みメールアドレス:　enshin@js4.so-net.ne.jp　（山田一　千葉支部長）

（注1）　終了後、会場を無料提供いただいた大岩社長から健康経営の話が短時間であります。

（注2）　船橋駅前で簡単に懇親会を実施しますので、申込時に参加の可否をお申し出ください。

（注3）　ノートパソコンの持参を推奨しますが、持参しなくてもOKで、プロジェクタで解説します。
電子データをお渡しするため、USBメモリーなどの記録媒体を持参ください。

## 【 開催場所:　JR船橋駅前　“フットケアなゆた”のセミナールーム】




会場:　JR船橋駅から徒歩5分
駅前ロータリーの先、歩道橋を降りてすぐ、HEAD　QUARTERSの角を右折して、道なりに徒歩3分
焼肉の「ごじ」、武道具専門店の先
イタリア料理店の前
いとう薬局の左横のこげ茶色の扉のある天沼コーポの通路を入る。
奥の右のエレベータで6階へ
降りて左すぐが、603号室の会場

フットケアなゆたのセミナールーム
千葉県船橋市本町6-3-21
天沼コーポ　6階　603号室
TEL/　047-489－1304
検索キーワード:「船橋　なゆた」

支部活動報告

# 「2019全国研 論文発表会 in 中日本ブロック」開催案内

## 主催：中日本ブロック、主管：埼玉支部

埼玉支部

2020年1月13日（月・祝）、さいたま市にある浦和コミュニティセンター（JR浦和駅近く）にて、「2019全国研 論文発表会 in 中日本ブロック」を開催致します。

2019年9月京都の地で、日本経営士会恒例の第53回経営士会全国研究会議（以下全国研）が開催されました。この中で、論文発表会が行われましたが、この度中日本ブロック内の論文発表者（掲載論文のみの方も含む）による「2019全国研 論文発表会 in 中日本ブロック」を開催することになりました。

2019年1月に初めて「2018全国研 論文発表会 in 中日本ブロック」を開催しましたが、評判がよく、今回は多数収容できる会場を用意しましたので、是非ご参加くださるようご案内致します。中日本ブロック以外の会員も参加を歓迎いたします。

なお会員以外の方も参加頂けますので、お誘いあわせの上、参加申込みをお願い致します。

1. 開催日時：2020年1月13日（月・祝）（受付13：00～）開演13：25～
2. 会　　場：浦和コミュニティセンター第14集会室（浦和駅東口パルコ10F）
   JR京浜東北線又は湘南新宿ライン又は高崎線／東北線（上野東京ライン）
   浦和駅東口　徒歩1分
3. 会　　費：1,000円　当日ご持参ください
4. 募集人員：先着　50名
5. 内　　容：講演内容は下表を参照願います
   「懇親会」17：10～19：30　（有料 3,000円程度）
6. 問い合わせ：担当幹事　小西洋三まで
   E-mail：konishi43@jcom.home.ne.jp　携帯：080-1080-5212

表1　発表の内訳（発表順（予定）、敬称略）

| | 氏名（所属） | 発表タイトル（論文集タイトルに同じ） |
|---|---|---|
| 1 | 大野 信行<br>（南関東支部） | サステナブル経営の実践人財育成に関する一考察<br>～中小企業の伝統と共創の視点から～ |
| 2 | 小泉 利明<br>（南関東支部） | 伝統と共創<br>～従業員のキャリア開発における基盤～ |
| 3 | 高橋 栄一<br>（南関東支部） | 長寿企業の秘訣<br>～頑張る中小企業に水平展開する～ |
| 4 | 戸部 廣康<br>（南関東支部） | アメーバ経営と SDGs<br>～経営士が果たすべき役割～ |
| 5 | 豊田 賢治<br>（埼玉支部） | ベンチャー企業は信頼から TV 番組へ<br>～キャズムという深い溝を越えるには～ |

（注）発表順は当日までに変わる可能性があります。
発表該当者は7名ですが、2名の方の都合が悪く5名の発表となりました。

開催趣旨は、①全国研に参加できなかった方に発表すること、②掲載論文のみの方にも発表の機会がもてる、の2点ですので、奮って参加よろしくお願いします。

（文責：小西 洋三）

支部活動予定

# リベラルアーツ祭り

埼玉支部

《音楽ホールで行う異色のイベント》
リベラルアーツに親しむ人って素敵!!

## 『リベラルアーツ祭り』

１．目的
一般的な経営の知識や最近のトレンド情報も重要です。しかしながら、社会が複雑化・グローバル化している中で、懐の深い考え方をする経営者・経営支援者が大局的・長期的視座を持った施策を打てるのではないでしょうか。
そのために、即効効果は期待できませんが、徐々に考え方・行動に影響を及ぼすのがリベラルアーツです。リベラルアーツとは、歴史、哲学、芸術、論理的思考力、柔軟な発想力等の教養のことです。
このイベントで楽しみながらリベラルアーツの一端に触れ、興味を持っていただければ幸いです。

２．概要
第１幕　ソクラテスの哲学（出演：埼玉大学教育学部准教授　宮崎　文典）
古代ギリシアの哲学者ソクラテスは、美しく（立派に）生きること、正しく生きることこそが善く生きることだと考えました。これはより具体的にはどのような意味なのか、彼の哲学は私たちをどのような生き方へと誘おうとしているのか、考えてみたいと思います。

第２幕　ユネスコ世界遺産「能」に親しもう（出演：春原和夫（経営士）、藤原歌劇団団員）
日本人の文化を能の生い立ちや特色、謡曲の特色（和歌の力）、舞の実演を交えながら説明いたします。また日本の式楽と対比し、オペラ歌手、ピアニストによる西洋の式楽である“オペラの魅力”を鑑賞していただきます。

第３幕　シャーロック・ホームズの挑戦（出演：シャーロック・ホームズ（Kenji Toyoda））
シャーロック・ホームズは、事実や事象から論理的に構築した推理を検証して事件を解決します。小説だけでなく、現実の世界でも問題がスッキリ解決する方法について、ホームズはどんな話しをするのでしょうか？

３．日時
２０２０年３月２２日(日)　10:00～17:00　（開場　9:30）終了後に懇親会

４．場所
関交協ハーモニックホール　東京都新宿区西新宿　7－21－20　関交協ビルB2
（丸ノ内線　西新宿駅　1番出口徒歩5分　やよい軒隣）　http://www.harmonichall.jp/

５．申込締め切り
２０２０年３月６日（金）　但し定員になり次第締め切ります。
参加するものに○をつけてください。

（１）「リベラルアーツ祭り」　　（２）懇親会（懇親会会費　¥5,000）

懇親会ご参加者は３月６日までに下記口座へお振り込みください（振込手数料はご負担願います）
みずほ銀行　南浦和支店　普通預金　２４０２８９９　一般社団法人日本経営士会埼玉支部

メールから　k-sys55@jcom.home.ne.jp　担当：豊田賢治

FAXから　048-882-6051　下記事項をご記入の上、FAXまたはメールでお送りください。
下記個人情報については日本経営士会からのご案内のみに使用させていただきます。

| | | | |
|---|---|---|---|
| お名前 | | | |
| 会社名<br>支部名 | | 役職 | |
| メールアドレス | @ | | |

支部活動報告

# 南関東支部　静岡経営支援センター長就任のご挨拶

南関東支部

静岡経営支援センター長　増田 昌彦

## 1. はじめに

この度、静岡経営支援センター長を拝命しました増田昌彦と申します。1956年に静岡県浜松市に生まれました。某電機メーカーを約40年勤め、2019年3月に定年退職しました。在職中から環境経営士の資格を取り、7年ほど活動してきました。その後2019年6月に経営士の資格を取り静岡経営支援センター長を拝命しました。現在は神奈川経営支援センターでSDGs研究会[注1)]会長を務めており、電気学会の研究会を2020年2月21日に「SDGs未来都市を目指して～各組織の実施例」というテーマで開催する予定です。ご都合のつく方はご参加ください。

## 2. 就任にあたっての抱負

今までの経緯はいろいろありましたが、今後は世の中のSDGsの動きを活用して以下のことを進めてまいりたいと存じます。

1) **会員の活動目的の1つにSDGsの17の目標のどれかを入れる。**
SDGsは国連がだれひとり取り残さないテーマとして目標を掲げ、内閣府地方創生事務局が日本型モデルとして採用しました。そのためどのようなテーマも包括できます。

2) **SDGs未来都市のテーマを各会員の仕事に結びつける。**
幸いなことに浜松市、静岡市ともすでにSDGs未来都市[注2)]に認定されています。それを活用して会員の仕事を増やしていきたいと思います。

3) **SDGsを通じて東京、神奈川、静岡との会員相互の連携を強める。**
今までは各センターごとのバラバラな動きが多かったようですが、日本経営士会本部に委員会ができ神奈川にSDGs研究会ができているためそれらの連携を図ります。

## 3. 具体的な展開

具体的には浜松市、静岡市等自治体とのつながりを深めます。地元の商工会議所に代表者を登録するのもいいでしょう。SDGs未来都市の各自治体のプロジェクトに参加するのもいいでしょう。また地方創生官民連携プラットフォームに参加して分科会を立ち上げるのもいいかと思います。いずれにしろ日本経営士会内部のみの活動でなく、外部の機関特に自治体や公的機関との関わりを持てば活動の輪が広がります。

## 4. 最後に

希望的観測を書いてまいりましたが新しい試みでセンターを活気付けたいと思います。

注1）SDGs研究会：
国連が提唱している持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）について研究する会で神奈川経営支援センター内に設置されている。17の目標と169のターゲットを掲げている。

注2）SDGs未来都市：
内閣府地方創生推進事務局が推進する自治体の認定制度で認定されると最大4千万円の補助金が付く。

支部活動報告

# メッセナゴヤ2019報告書

中部支部

中部支部　三品 富義

令和元年11月6日（水）～ 9日（土）の4日間、ポートメッセなごや（名古屋港金城ふ頭）にて、日本最大級の異業種交流会である『メッセナゴヤ2019』が開催されました。今回のテーマは「商機結合～繋がりから生まれる新たなビジネス～」。

主催者のメッセナゴヤ実行委員会の発表によりますと、国内や海外より過去最大となる1442社・団体の出展があり、4日間を通しての入場者数は62,422人と大盛況であったとのこと。

本展示会は2006年より毎年開催され今年で14回目となりますが、規模の大小や業種・業態や地域の垣根を越えた出展者と入場者との商談はもちろんのこと、出展者間どうしでも交流が図られています。特に自動車産業はデジタル革命により「百年に一度の大変革」が進むなど、産業構造の変革、AI、IOT、ロボット、環境、エネルギー、SDGsなどを視野に入れ、VUCA（ブーカ）の時代におけるマッチングを図る取組みとなっています。

（青木会長と中部支部メンバー）

一方、日本経営士会中部支部は、今年で11回目の出展となりますが、5年前より日本経営士会本部の公益事業として位置付けられています。「無料経営相談コーナー」をメインとして、経営士会のPRと入会促進、中部支部による「経営士補養成講座」、「環境経営士養成講座」の参加者募集呼びかけなどしたところ、当ブースには約100名の方にお立ちよりいただきました。特に今回は、ミニプレゼンとして経営士会のPRをするための「経営士になりたい夫・エイジと恐ろしい妻・ケイコの会話」と題した紙芝居（画作：加藤健二、シナリオ：林広高）を期間中10回、経営士のメンバーが交代で実演し、立ち見が出るほどの回もあり上々の評判でした。十分にPRができたのではないでしょうか。その上、本部より青木会長がブースの応援に駆けつけて、支部会員に激励をいただきましたので、一層の盛り上がりにつながりました。

また、今回はメッセナゴヤ2019特別会場（50席）にて、プロの経営コンサルタントを目指している方を対象に「プロが伝授！真の経営コンサルタントへの道」と題する講演（45分）を梅本泰則中部支部長が行いました。講演会場はほぼ満席となり、プロのコンサルタントを目指したいというニーズの高さを改めて認識することが出来ました。講演の要点は、経営コンサルタントになるには、誰に何をどうやって行っていくかという、そのドメインを決定すること、「書く・話す・聞く」の3つの力を磨くこと、ホームページや情報発信（ブログ・メルマガ・SNSなど）を行い、人脈を広め、紹介をいただくことなど、顧客獲得法を研究実践する必要がある。という内容でした。

（梅本支部長の講演）

（紙芝居による経営士会の紹介）

支部活動報告

# 中部支部　研究会報告

中部支部

報告者　梅本 泰則

〈場　所：名古屋芸術創造センター 5階〉

1. ●日　時：令和元年10月27日（日）　9時30分～11時30分　【講師：松永準一】
●研究会：eco研究会「ケミカル事業の成否は環境問題の克服に尽きる」

松永講師が中心になり内外で立ち上げたケミカル関連事業分野で、「計画期～安定操業期～衰退期」の各段階で発生した「環境問題」解決のための技術開発について、紹介がありました。事業立ち上がりに際してご苦労をされた点、推進にあたって技術知識の重要なことなど、詳しくお話をしていただきました。そして、「自社開発技術」を「海外で企業化」するケースに関し、参加者とのディスカッションになり、『起業理念～付随する他社権利への初期対応』などに議論が展開。大変奥深い内容となりました。

2. ●日　時：令和元年11月23日（土）　9時30分～14時30分　【講師：近藤守邦】
●研究会：養成講座研究会「経営士補養成講座内容検討：財務の基礎」

財務諸表の基本である、貸借対照表（B/S）、損益計算書（P/L）、キャッシュフロー計算書（C/S）について、具体例を挙げてわかりやすく丁寧な説明をいただきました。

また、簡単な事例によって財務三表の基礎的な知識習得の演習を行い、続いて資金繰り表、限界利益、損益分岐点の説明をいただきました。

重要なことは、財務諸表は経営の状態を表しており、過去の実績を分析し今後の作戦を立てることにある、とのご指摘でした。

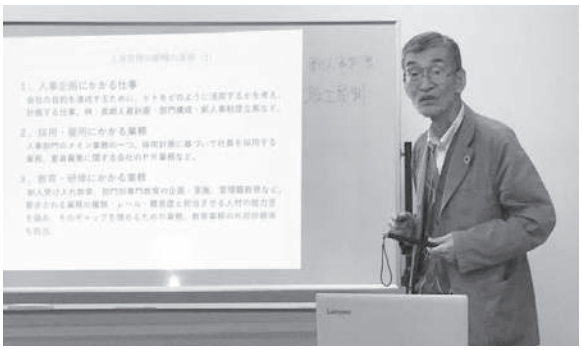
3. ●日　時：令和元年11月23日（土）　12時30分～14時30分　【講師：髙野　剛】
●研究会：養成講座研究会「経営士補養成講座内容検討：人事の基礎」

人事管理とは、組織で働く労働者を管理する手法であり、また、企業の目的達成のため、従業員を効果的に制御、統制し、管理することである。人事管理の範疇の業務としては、①人事企画、②採用・雇用、③教育・研修、④労務管理、⑤人事制度・環境整備に関するものがある。

そして、人事管理関連法の中には労働基準法を軸として様々な法律があり、守らなくてはならない。また、働き方改革の問題では、我が国が課題として直面している少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少の中で、どのように働くのか、どのような環境で働くのかが重要な課題となっている。

以上、一連の人事管理について経験豊富な現場経験も交えながらお話をいただきました。

（近藤講師）



（髙野講師）

支部活動報告

# 故阪井支部長を偲ぶ会の報告

近畿支部

## 【12月15日大阪難波神社にて執り行いました】

経営士会創設まもなくから近畿支部長及び本部役員を歴任されました阪井先生がお亡くなりになり7年になります。

ご生存中は、マテハンのコンサルタントとしてご活躍なされるとともに、近畿支部長として多くの後輩会員に暖かいご指導・ご鞭撻をいただきました。

最後に取り組まれ、志半ばになった全国研を、近畿支部会員が一丸となり本年盛況に終了したことを、故阪井支部長の御霊にご報告いたしました。

当日は、故阪井支部長のご令室 直美様、ご長女の 正美様にもご参加いただき、一同で故人へ拝礼いたしました。

偲ぶ会で思い出に浸るにつれ、故人の御霊に応え(一社)日本経営士会を主体的に担い、発展に寄与する近畿支部を再構築していく想いを新たにいたしました。

また遠路よりご参加いただきました高橋元会長、近藤専務理事ありがとうございました。

四国支部の東原先生、お心遣いありがとうございました。

（ご家族挨拶）

（酒井代表世話人挨拶）

（参加者一同）

支部活動報告

# 近畿支部公開MPP開催の案内

近畿支部

近畿支部MPP担当　北原 雅人

日頃は近畿支部の活動にご理解・ご協力頂き誠に有難うございます。

今年も他支部会員を交えた公開MPPを開催することになりました。他支部会員との討議で日頃とは違った、新たな見解などが出ることなることでしょう。

開催要領は下記の通りです。MPP初参加・参加経験が少ない会員の方も歓迎です。奮ってご参加下さい。

**日　　時**　**令和2年3月14日（土曜日）**
**午後1時～午後4時**（※午後12時50分頃より受付開始）

**場　　所**　**貸会議室　pace南森町**
大阪市北区天神橋1-19-15 大証ビル3階 301-2号室
・地下鉄谷町線・堺筋線　南森町駅 4A出口
・JR東西線　大阪天満宮駅 7番出口　　どちらも南（大阪天満宮方向）へ徒歩4分

※天神橋筋商店街の中、大阪天満宮正門近くのローソン斜め向かいのビルです。
1階左手に喫茶店「麗門」・右手に蕎麦屋「天一」、その中間に自動ドアの出入口があり、階段を上ってください。アーケードのピンク色看板が目印です。
※参加者多数の場合は、隣接する会議室も併用します。（当日お知らせします。）

**参 加 費**　1,000円（当日徴収）　※研究会終了後、懇親会を予定しています。（実費）

**申込方法**　メール表題に「公開MPP参加」、
本文に氏名・所属支部または県会・連絡先電話番号・懇親会の参加有無を記入して、北原雅人宛（sun-lux@joy.hi-ho.ne.jp）へ送信願います。平日日中に確認後、返信します。

**締切：3月5日（木）　※定員15名に達し次第締め切ります。**

お問い合わせ先：北原　雅人（近畿支部）
携帯：090-2190-7589　　メール：sun-lux@joy.hi-ho.ne.jp

☆頂いた個人情報は、今回の運営ならびに今後開催する近畿支部MPPの案内等に利用します。☆

支部活動報告

# 四国支部10月度・11月度例会

四国支部

10月21日（月）四国支部において初めて「ZOOM」を使った勉強会を参加者9名にて開催しました。今回は松本会員の事業に置いての相談で、各会員パソコンや携帯のモニター越しで会議室同様の臨場感で（会議室よりも顔が近い感じ）開催しました。過去に経験のある方は積極的に発言をされていましたが、慣れない人はほぼ見学状態の方もいました。しかし会議室でも同じような感じなのでこれもありかなと思いました。むしろ、どこにいても参加できるという利点は時間だけキープできていればよいということで、地図で見れば小さい四国ですが、一同に会すには首都圏ほどのインフラもなく、移動時間も馬鹿になりません。四国四県の知事が集まるのに一番便利なところが羽田空港の会議室という冗談のような本当の話もあるぐらいです。それが一気に解消したような感じがしました。今後も年に数回このような勉強会を行なっていこうと思っております。利便性においても、経費節減においても非常に意味のあるツールではないかと思っております。

また11月22日（金）19時よりサンポートホール高松会議室にて中国支部より金廣支部長をお招きして「PSシートによる解決策策定の革新発見的手法から論理的手法へ」という内容で勉強会を行ないました。

以前から金廣支部長とお話をしていたのが実現したということで、楽しみにしておりました。参加人数は少々少なめの8名でしたが始まりから熱心に聞き入っておりました。

MPPを始め他のケーススタディーと少し違ったもので、このカテゴリーも含めて経営手法を研究するのも面白いのではないかなと思いました。

今までは、四国支部主催の勉強会などに他支部の方にも参加してもらう形式が中心でしたが、今回のように講師としてお招きして勉強会を開催することにも取り組んでいこうと思っております。そのほか、四国支部各会員の得意分野で支部を超えて勉強会なども計画しております。小手初めに川西会員が本部にて「ZOOM」を利用した会議、勉強会を講義しました。そのうちに皆様の支部にお邪魔することがあるかもしれませんがその節は宜しくお願いします。

（四国支部事務局）

（金廣会員の講義に熱心に耳を傾ける四国支部会員）

支部活動報告

# 環境経営士養成講座　実施報告

九州支部

九州支部　講師　藤原 義博

南九州の霧島連山の麓にある「えびの市国際交流センター」に於いて10月5日・25日・26日に穏やかな天候に恵まれた環境下で、環境経営士養成講座を開催しました。

2015年9月、国連サミットでSDGs「持続可能な開発目標」が採択されました。17のゴール、169のターゲットから構成されています。世界は、この2030年達成目標に向けて動き出しているところです。今回、受講された方は、SDGsを避けて通れないことを実感されているプロのコンサルタント(経営士)で沖縄県、鹿児島県、宮崎県から参加されました。

(参加の皆さん)

(ワークショップの風景)

使用する公式テキストは「CSR環境と経営」一般社団法人　日本経営士会　CSR環境事業部発行で、2018年に改正されていてSDGsについても網羅されています。

COP25が2019年12月2日～13日までスペイン・マドリードで開催されます。
グレタ・トゥーンベリさん(16歳)が気候変動について訴え出ています。
現在は「気候変動」ではなく「気候危機」という言葉を使う専門家が増えている状況です。

環境経営に於いての主体は、人、組織、地球です。環境経営においての環境とは、主体と関わりのあるものを言います。自然環境、都市環境、企業環境、文化環境、政治環境、経済環境、社会環境、です。また、CSRでは、7つの中核主題(組織、人権、労働慣行、環境、公正な事業慣行、消費者課題、コミュニティーの参画及びコミュニティーの発展)と課題、があります。
講座のワークショップでは、このような内容にもチャレンジしていきます。

これまで経験したことの無い高温・風水害等が多発している今日です。自然環境安定がなければ健全な経済活動は期待できません。経営活動に於いての経営アドバイスの仕事上では、この講座で学習経験したことを発揮していきたいと考えています。

# 2019年度下期行事・講 座・セミナー ご案内

| 行事･研修･セミナー | 日　時 | 詳　細 | 申込方法など |
|---|---|---|---|
| 第52期経営士養成講座 | 1月12日(日)～3月15日(日)<br>10日間　9:00～18:00 | 募集人員:16名<br>受 講 料:220,000円 | 事務局に問合わせ下さい。 |
| 環境経営士養成講座<br>ベーシックコース | 1月11日(土) 10:00～17:30 | 募集人員:10名<br>受 講 料:13,000円 | 当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。 |
| 環境経営士養成講座<br>アドバンストコース | 1月18日(土)・19日(日)<br>2日間　10:00～17:30 | 募集人員:10名<br>受 講 料:25,000円 | 当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。 |
| 経営改善プロフェッショナル<br>養成講座 | 2月23日(日) 10:00～17:30・<br>2月24日(月)　9:30～17:30<br>2日間 | 募集人員:16名<br>受 講 料:30,000円 | 当会HPをご覧下さい。<br>事務局に問合わせ下さい。 |
| 第5回定例理事会 | 3月13日(金) 13:30～16:00 | —— | —— |
| 環境経営士養成講座<br>ベーシックコース | 3月14日(土) 10:00～17:30 | 募集人員:10名<br>受 講 料:13,000円 | 当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。 |
| 環境経営士養成講座<br>アドバンストコース | 3月21日(土)・22日(日)<br>2日間　10:00～17:30 | 募集人員:10名<br>受 講 料:25,000円 | 当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。 |
| 経営革新計画<br>プロフェッショナル養成講座 | 3月28日(土) 10:00～18:00・<br>3月29日(日)　9:30～17:00<br>2日間 | 募集人員:20名<br>受 講 料:30,000円 | 当会HPをご覧下さい。<br>事務局に問合わせ下さい。 |

●開催場所は全て、日本経営士会本部事務局会議室です。●受講料は全て税込です。
■『e-ラーニング講座』を3月よりスタートしています。講座を受講され、スキルアップにご活用下さい。
詳細はホームページをご覧いただくか、又は本部事務局にお問い合わせ下さい。

# 支部活動予定

**【北関東支部】**

**(茨城県会)**

**＊茨城県会月例研究会**
**(経営士の提言、MPPケース作成、その他)**
1月25日(土)13：30～16：30
ひたちなか商工会議所

**＊茨城県会公開MPP**
2月29日(土)13：30～16：30
ひたちなか商工会議所

**＊茨城県会月例研究会**
**(前年度総括、新年度計画素案立案、その他)**
3月28日(土)13：30～16：30
ひたちなか商工会議所

**(新潟県会)**

**＊第25回公開MPP**
1月26日(土)13：30～17：00
長岡まちなかキャンパス501

**＊第26回公開MPP**
2月15日(土)13：30～17：00
クロスパルにいがた402

**＊運営委員会**
3月 7日(土)14：00～17：00
クロスパルにいがた

**【埼玉支部】**

**＊ビジネスモデル・キャンバス研究会**
1月 6日(月)13：30～
武蔵浦和コミュニティセンター 第10集会室

**＊埼玉支部定例会**
1月13日(月)13：00～
武蔵浦和コミュニティセンター 第14集会室

**＊ビジネスモデル・キャンバス研究会**
2月 4日(火)13：30～
武蔵浦和コミュニティセンター 第2集会室

**＊環境経営研究会(内容：SDGsゲーム)**
2月25日(火)13：30～
川口市民パートナーステーション

**【一木会】**
2月6日(木)15：00～17：00
3月6日(木)15：00～17：00
(会場は毎回 ホテルグランドヒル市ヶ谷)

**【TAMAマネジメント研究会】**
1月25日(土)14：00～17：00
2月22日(土)14：00～17：00
3月28日(土)14：00～17：00
(会場は毎回 三多摩労働会館)

**【中部支部】**

**＊経営士補養成講座**
1月18日(土)10：00～17：00

**＊1月度幹事会**
1月26日(日)10：00～12：00

**＊中部支部賀詞交換会＆特別講演会**
1月26日(日)13：00～16：30

**＊中部支部研究会(内容未定)**
2月 9日(日) 9：30～14：30

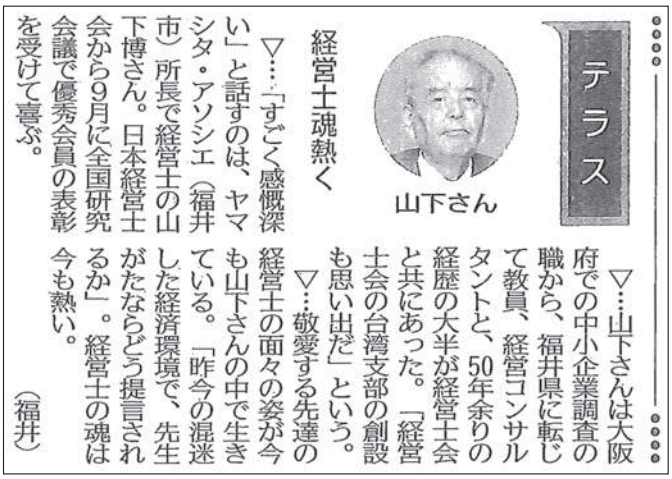
**＊中部支部研究会(内容未定)**
2月16日(日) 9：30～14：30

**＊中部支部研究会(内容未定)**
3月 1日(日) 9：30～14：30

**＊中部支部研究会(内容未定)**
3月22日(日) 9：30～14：30
(以上会場：名古屋市芸術創造センター)

## 日刊工業新聞に掲載になりました

近畿支部福井県会の山下博会員（会員番号1849）が、11月12日（火）の日刊工業新聞の**テラス**欄に掲載されました。
次回号で掲載関連の記事をご投稿される予定です。



テラス

▽…山下さんは大阪府での中小企業調査の職から、福井県に転じて教員、経営コンサルタントと、50年余りの経歴の大半が経営士会と共にあった。「経営士会の台湾支部の創設も思い出だ」という。

▽…敬愛する先達の経営士の面々の姿が今も山下さんの中で生きている。「昨今の混迷した経済環境で、先生がたならどう提言されるか」。経営士の魂は今も熱い。（福井）

山下さん

経営士魂熱く

▽…「すごく感慨深い」と話すのは、ヤマシタ・アソシエ（福井市）所長で経営士の山下博さん。日本経営士会から9月に全国研究会議で優秀会員の表彰を受けて喜ぶ。

## 第52期　経営士養成講座開催のお知らせ

**本部・中日本ブロック共催**

**一般社団法人日本経営士会は次代を担う経営コンサルタントを養成します**

◆開　催　日：全10回　（土・日曜日を中心に開催）
1月12日（日）開講、1月25日（土）、2月1日（土）、2月8日（土）、2月9日（日）、2月15日（土）、2月22日（土）、2月29日（土）、3月7日（土）、3月15日（土）修了
◆会　　場：一般社団法人日本経営士会　本部会議室
（〒102-0084 東京都千代田区二番町12-12 B.D.A.二番町ビル5F会議室）
◆募 集 人 員：16名（定員になり次第締め切らせていただきます）
◆受　講　料：220,000円（消費税込）
◆お問合わせ：一般社団法人日本経営士会　事務局
TEL　03-3239-0691　　E-mail　office@keieishikai.com
◆詳細は、ホームページでご確認下さい。

**✿会員各位へお願い✿**
**経営士、日本経営士会にご関心のある方へ是非経営士養成講座の受講を勧めて下さい。**

## 「経営士の提言」執筆のお願い

日刊工業新聞社のご厚意により、日刊工業新聞紙面に「経営士の提言」の欄を設けていただいております。日本経営士会並びに「経営士」の活動を知っていただく絶好の機会になりますので、会員各位の積極的な寄稿を是非お待ちしています。執筆の要領は下記の通りです。

■「経営士の提言」執筆要領
内　　容：「モノづくり産業を中心とした経営的視点から」読者・関連業界に参考になる提言・提案を執筆して下さい。
字　　数：900 文字（末尾に氏名と電話番号を記載）
紙面掲載：毎週木曜日
原稿作成：文章は常体「だ・である」でワードで作成の上、メールにてデータで本部事務局宛てにお送り下さい。（メールアドレス office@keieishikai.com）
＊掲載内容は、日刊工業新聞社の編集部が決定します。

# 謹　賀　新　年

設立５０周年　　１９６９年資本金１０００万円で設立

株式会社　東洋コンサルタント・グループ

代表取締役会長　**渡部　喜政**

1963 年 日本経営士会入会 2003 年藍綬褒章受章

事務所　〒010－0001
秋田市中通３丁目４番５０号　秋田県農業共済会館４階
ＴＥＬ 018-833-2801　ＦＡＸ 018-833-2802

＊社会福祉法人専門コンサルティング部門　ＴＥＬ 018-833-2899

PR

# 謹 賀 新 年
## －北海道支部－

事務局　〒063-0835 北海道札幌市西区発寒 15 条 1 丁目 2-6

支部長　経営士　経営学博士　**溝 渕 新 蔵**
（電話 090-1308-0166）

◆◆◆函館分会創設で、一層の発展を期す◆◆◆
（副支部長　島尻裕康 担当）

PR

任せて「安心」長年の「実績」と「信頼」でお応えします

一般廃棄物／産業廃棄物 収集運搬処理業

株式会社 名晃

代表取締役　峠　テル子

**携　帯：**090-1989-7410／**E-Mail：**toge@meikou-gifu.jp
本社　〒503-0112　岐阜県安八郡安八町東結 1092-1
TEL：0584-62-3411　FAX：0584-62-3412
E-Mail：meiko-co@na2.synnet.or.jp

PR

# 広告／インフォメーション

## ビーガン対応のプロテインバー Soy Concept

PR

◆大豆の植物性たんぱく質で脂肪になりにくい
◆創業60余年の菓子屋がつくる安心の国内製造
◆日本ベジタリアン協会推奨のビーガン対応

マーガリンやショートニングは使わずにトランスファットフリーな上、動物性、小麦粉、保存料、人工甘味料、着色料、香料、は一切不使用。
味はアーモンドとカカオの二種類。
賞味期限は製造日より300日。
最低配送単位は144本より。
お問合せはお気軽にどうぞ。

【弊社事業】
①菓子を用いた販売促進物・宣伝物の企画・製作
②菓子専門商社業
③週一回からのパートタイム経理部長サービス
（月次決算早期化、資金繰り表見える化　等）

【お問合せ先】
株式会社バーニングスピリッツ
代表取締役　堺　剛
携帯電話：090-2733-0185
メール：tsakai@burningspirits2017.com

## 経営士とのダブル・ライセンスで仕事幅拡大
## 国家資格キャリアコンサルタント
に挑戦！ は、いまがチャンス！

国が力を入れコンサルタントと名乗れる名称独占資格。従業員のやる気が高まり企業業績アップ。質問力、ファシリテーション力、カウンセリング（コーチング）スキルが身につく、生涯現役職種。

PR

受験資格が得られ、すぐに国家資格者になれる
**【厚生労働大臣認定・キャリアコンサルタント養成講習】**
http://careerjp.work/cc1/

**【経営士向け → 3大特典】**
- **受講料が最も廉価**：他校よりも数万円安く、入学金も免除。さらに消費税分値引。
- **合格サポート制度**：**「受験対策講座」が合格まで何度でも無料に！**：**通常1日2万円（他校も同様）の対策講座を何度受けても無料に！**
- **貴重な過去問題集＆回答を無料贈呈**：通常入手できない当校オリジナル版。

*説明会随時開催！*

一般社団法人
**地域連携プラットフォーム**
TEL：048-476-4600
FAX：048-476-4607
E-mail：info@careerjp.work
〒353-0006
埼玉県志木市館2-5-2鹿島ビル4階
代表理事　**柴田郁夫（経営士4756）**
国家資格キャリアコンサルタント
国家検定1級キャリアコンサルティング技能士
国家検定2級キャリアコンサルティング技能士

PR

## 謹賀新年
## 女性経営士の会　NJK

**NJK活動報告会**
日時：令和2年3月28日（土）
会場：本部会議室
内容：令和元年の「活動報告会並びに新年度の活動計画会議」
✿どなたでも参加できます。

**男女に関わりなく**
**会員の夢と希望の実現ために**
**NJKはお手伝いします**

## 新書紹介

**できるビジネスマンのマネジメント本**
**～組織で信頼されるビジネス思考の原則～**
**～ 20代・30代が持つべきビジネススキル～**

◇著　者：有賀正彦（会員番号4849）単著
◇発行所：玄武書房
◇発　行：2019年10月25日
◇価　格：1,300円（税別）
購入は、下記URLから申し込み下さい。
http://genbu-shobo.com

第54回

# 経営士全国研究会議 新潟大会

## 2020年 10／31（土）−11／1（日）

〈包括テーマ〉

## 地域の活性化と戦略

～高齢化、人口減少における観光・産業・海外展開などの取組み～

**会場** 新潟東映ホテル

※新潟駅より徒歩5分

1泊朝食付 8,400円（税込）［100室確保］

主催 一般社団法人日本経営士会　主管 一般社団法人 日本経営士会 北関東支部

後援（予定） 新潟県、新潟市、中小企業庁、新潟商工会議所、新潟県商工会連合会、新潟日報社、日刊工業新聞社
BSN新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0

# Management Consultant

経営に知恵と革新 Intelligence and Innovation in Management